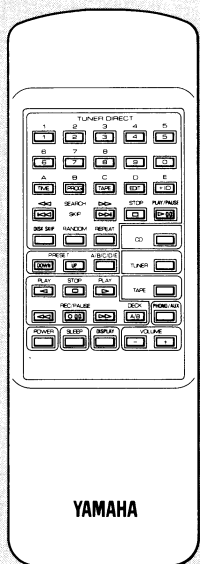
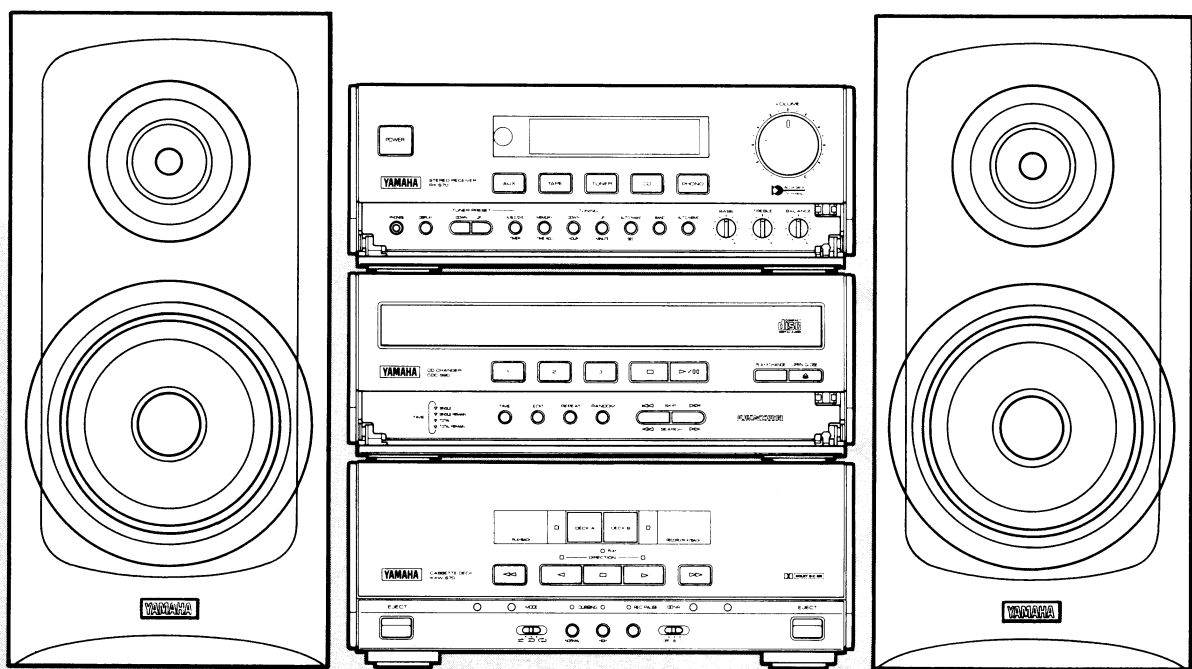


# YAMAHA


## ニューコンパクトステレオ

# CC-70

### 取扱説明書



COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO

 Active Servo  
Technology

#### 保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

■ ご使用の前に必ずお読みください

このたびは、YAMAHAニューコンパクトステレオCC-70をお買い求め  
いただきまして、誠にありがとうございます。

CC-70の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い  
いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。  
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

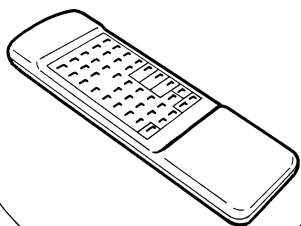
はじめに、次のことをお確かめください。

**1** 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか？

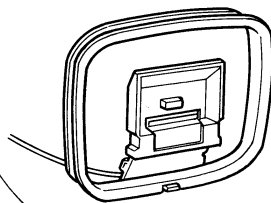
**2** 付属品はきちんとそろっていますか？

### ●付属品

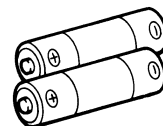
リモコン送信機 × 1



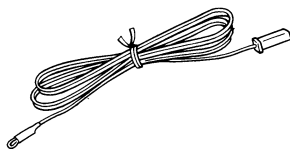
AM用  
ループアンテナ × 1



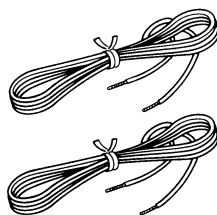
単3乾電池 × 2



FM用アンテナ × 1



スピーカーコード × 2




その他

取扱説明書 × 1 保証書 × 1

### ちょっと お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権  
法上、権利者に無断で使用できません。

 **DOLBY B-C NR**

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレー  
ションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY  
及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスング  
コーポレーションの登録商標です。

# おもな特長

- ◆ ライフスタイルに合わせて、レイアウトが楽しめる  
本体3ピースのニューデザインコンポ
- ◆ 小型スピーカーでも、豊かな重低音を再生する  
ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー搭載
- ◆ 41キー多機能ワイヤレスリモコン
- ◆ 実用最大出力75Wで迫力ある音が楽しめます
- ◆ CD3枚連続演奏が楽しめます
- ◆ CDからの編集が簡単にできる多機能・高音質  
CDプレーヤー
- ◆ フェザータッチ方式採用のWリバースメカニズム
- ◆ FM/AM合計40局ランダムプリセット付シンセサイザーチューナー

## もくじ

ページ

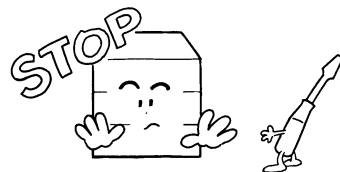
おもな特長..... 1 正しくお使いいただくために ..... 2~3 各部のなまえ ..... 4~8 リモコンについて ..... 9 お使いになる前の準備 ..... 10~13 CDやテープについて ..... 14 時刻の合わせかた ..... 15	<b>はじめに</b>
CDを聞くには ..... 16~23 テープを聞くには ..... 24~27 ラジオ放送を聞くには ..... 28~30 お好みの音量や音質で聞くには ..... 31	<b>聞きかた</b>
CDから録音するには ..... 32~37 テープダビングするには ..... 38~39 ラジオ放送を録音するには ..... 40~41 タイマーを使うには ..... 42~45 外部機器を楽しむには ..... 46	<b>録音・その他</b>
お手入れするには ..... 47 故障かな?と思ったら ..... 48~49 仕様について ..... 50 参考資料 ..... 51 ヤマハホットラインサービスネットワーク... 52	<b>ご参考</b>

# 正しくお使いいただくために

## お守りください

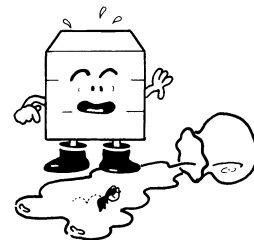
### 分解や改造は絶対にしないでください。

内部にさわると感電や故障の原因になります。  
内部点検、調整は販売店におまかせください。



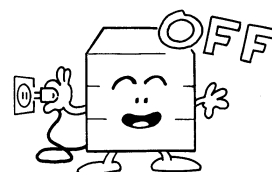
### 内部に異物を入れないでください。

- 内部に液体をこぼしたり、金属類や燃えやすい物を落とさないでください。  
異物が入ったまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
- 特にお子さまのいるご家庭では注意してください。



### 長時間ご使用にならないときは

- ふだんご使用にならないときは、電源を切ってください。
- 旅行など長時間お留守にされる場合は、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

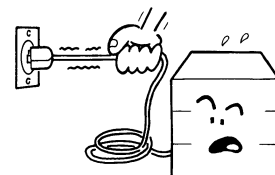


### 電源コードの取り扱いについて

コードが傷ついたり、内部の線が露出したまま使用しないでください。  
火災や感電の原因になります。

危険防止のため、次の項目に注意してください。

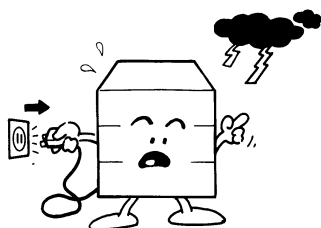
- 本機や家具、置物、敷物などの重い物をのせないで！
- 熱器具に近づけたり触れさせたりしないで！
- 無理に曲げたり、ねじったり、結んだりしないで！
- コードを抜くときは、プラグを持って！
- めれた手で、プラグにさわらないで！



万一、コードがいたんだら、販売店に交換をご依頼ください。（有料）

### ご注意

雷が近づいてきたら、電源コードをコンセントから抜いてください。



### 異常が起きたら

万一異常な音、におい、煙が出たときや異物が中に入ったときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に連絡してください。

また、本システムはレーザー部/デッキ部/CD部の単体では動作しませんのでレーザー部+デッキ部+CD部の組み合わせで修理をご依頼ください。

### 海外では使用できません。

- この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源、電圧が異なりますので使用できません。

<This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

## 置き場所は

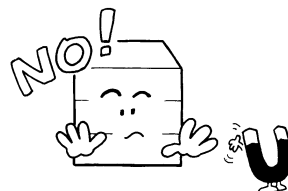


直射日光の当たらない、風通しの良い、安定した場所を選んでください。



次のような場所には置かないでください。  
故障や事故の原因になります。

- 直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く。
- ほこりや湿気の多い所。
- 水分のかかる所。
- 極端に寒い所。
- 振動の多い所。
- 熱器具や調理台のそばなど直接煙があたる所。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な所。
- 磁気や電気雑音を発生しやすいものから近い所。
- 風通しが悪く狭い所。



正しくお使いいただくために

## — “つゆつき” 現象について —

つぎのような場合には、内部のレンズやCDに露(水滴)がつくことがあります。

- ◆ ストープをつけた直後。
- ◆ 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- ◆ 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

### 露がついてしまう

CDの信号が読み取れず、本機が正常な動作をしないことがあります。

### 露を取るには

CDを取り出して電源を入れておけば、約1時間位で露が取り除かれ、正常な動作をするようになります。

## “デモ表示”について

本機は、電源コードをコンセントに接続してPOWER OFFのまましばらくすると、店頭でのデモンストレーション用の表示(デモ表示)機能が自動的にスタートします。

POWER ONするとデモ表示は、中止できますが、再びPOWER OFF状態が続くとデモ表示を繰り返します。

デモ表示を解除するには、時刻合わせ(15ページ参照)を行い、タイマー機能を動作させてください。

## — 発熱について —

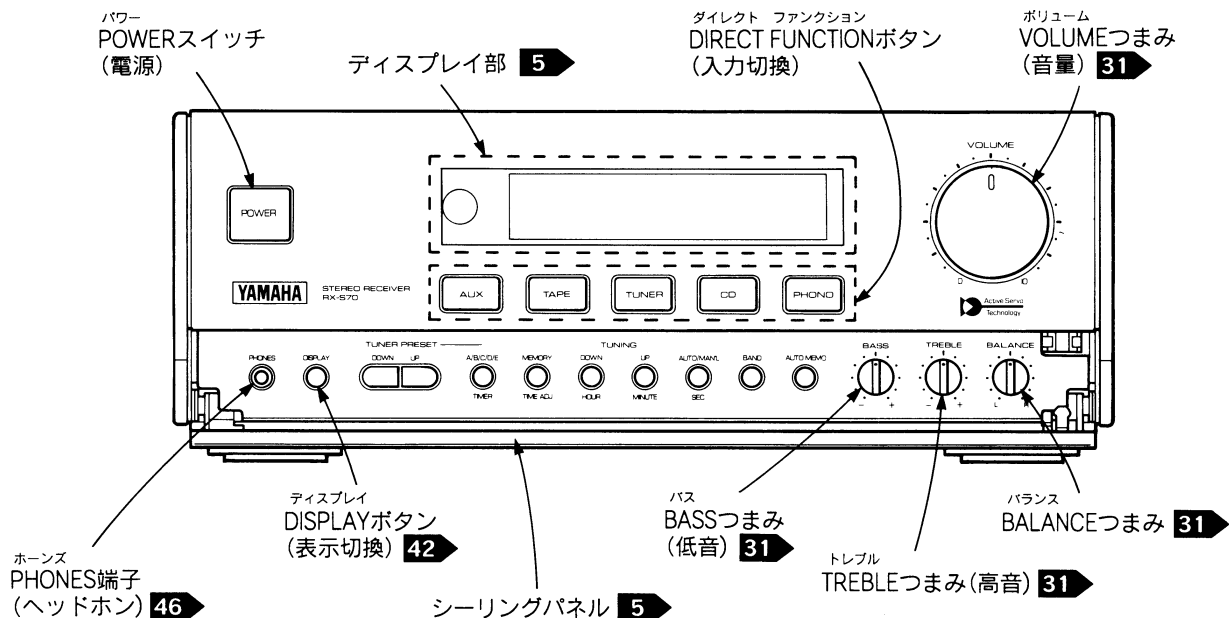
本機は、リモコンやタイマー機能を働かせるために、電源を切っても(Power OFF状態)表示窓の時計表示やマイコンのメモリー用に電気を消費しています。そのため、若干発熱しますが異常ではありません。

# 各部のなまえ

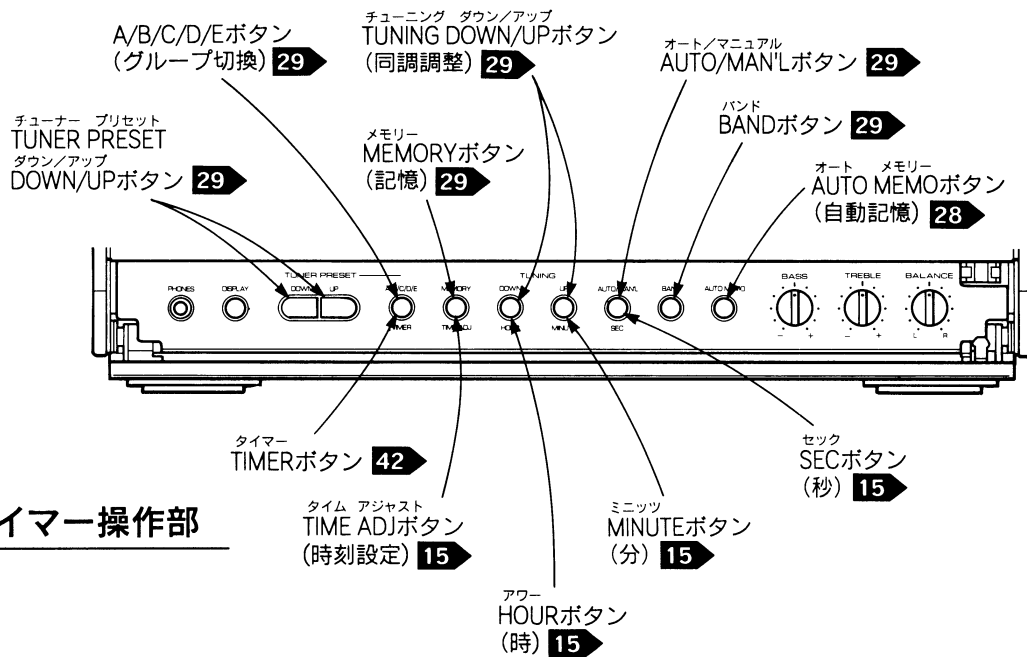
▶ 内の番号は、本文で説明しているおもなページです。

## レシーバー部(RX-S70)

### アンプ操作部



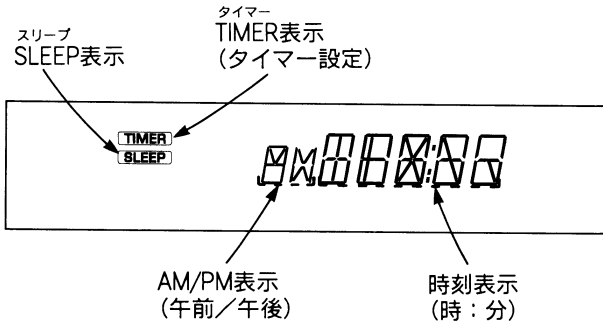
### チューナー操作部



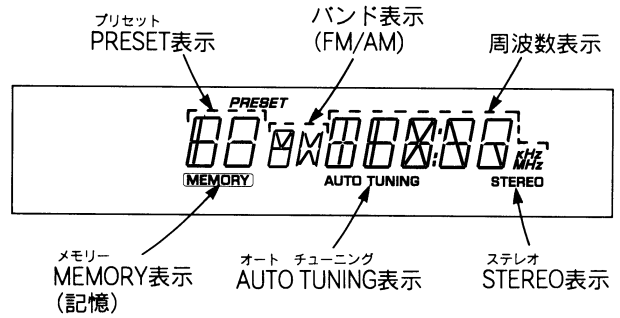
### タイマー操作部

ディスプレイ部

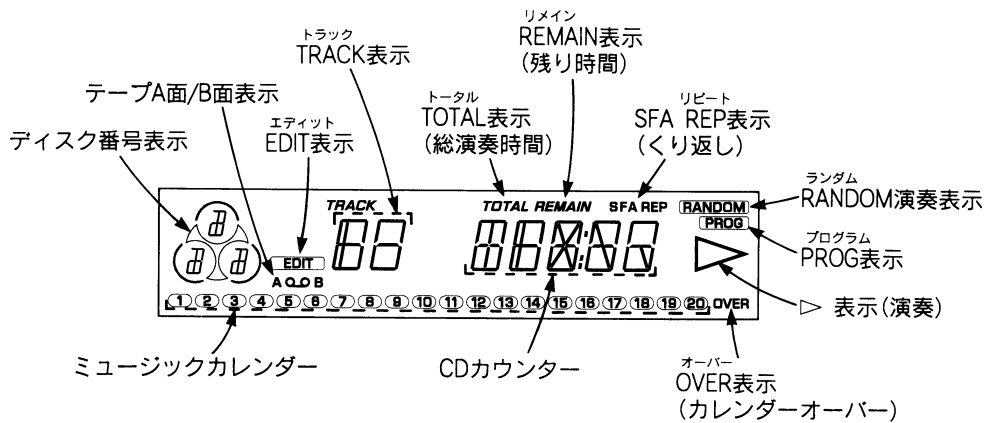
《タイマーモード》



《チューナーモード》

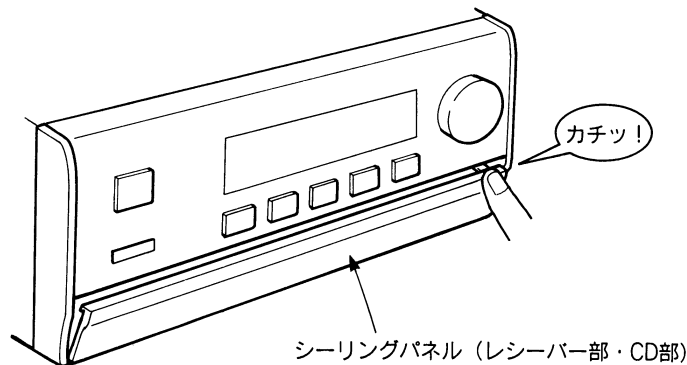


《CDモード》



シーリングパネルの開け方

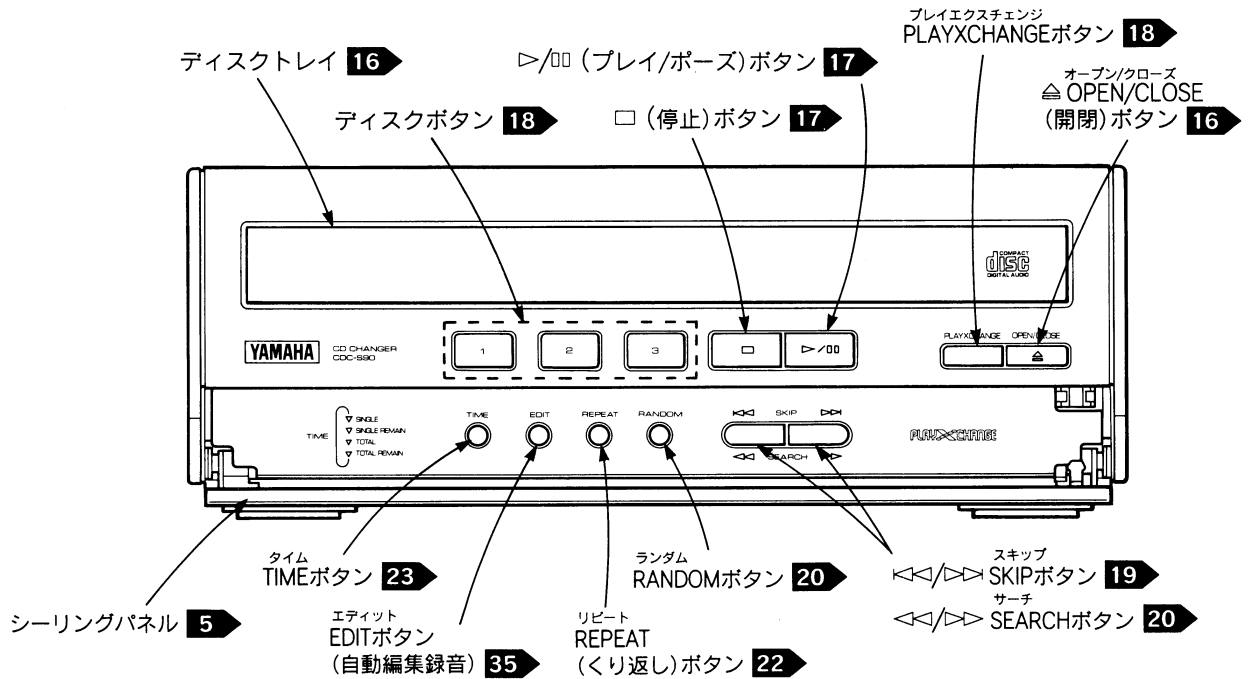
右隅上部を軽く押します。



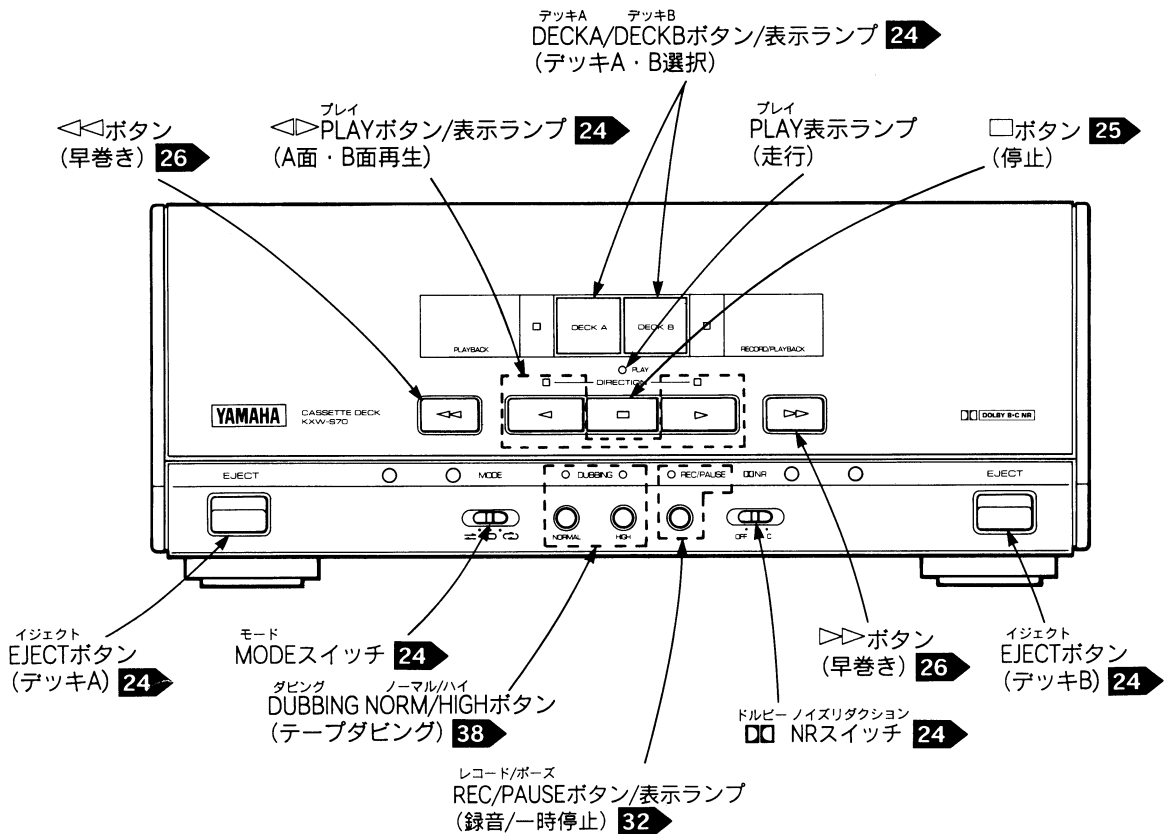
# 各部のなまえ

内番号は、本文で説明しているおもなページです。

## CD部(CDC-S90)

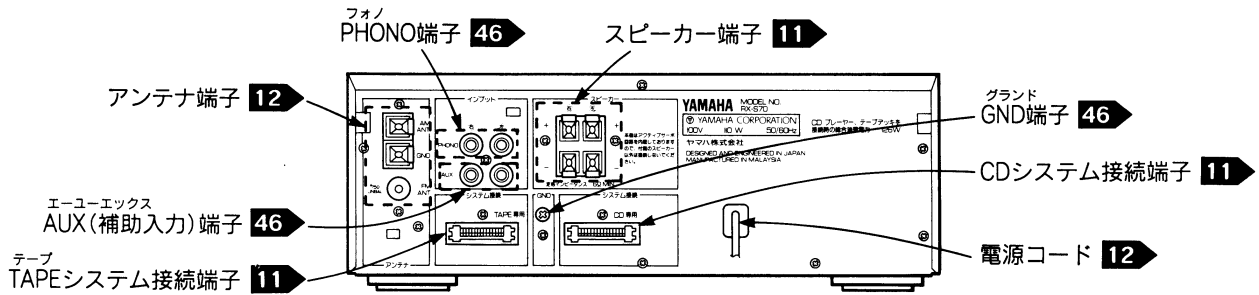


## デッキ部(KXW-S70)

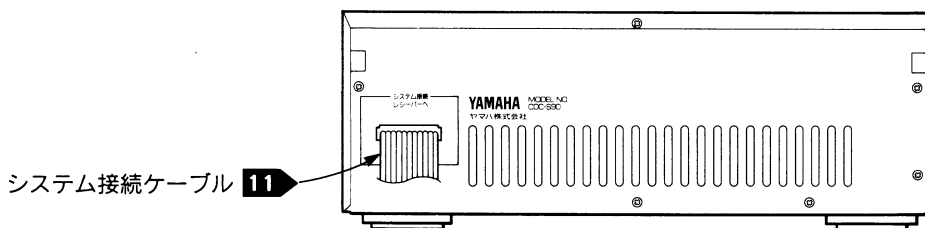




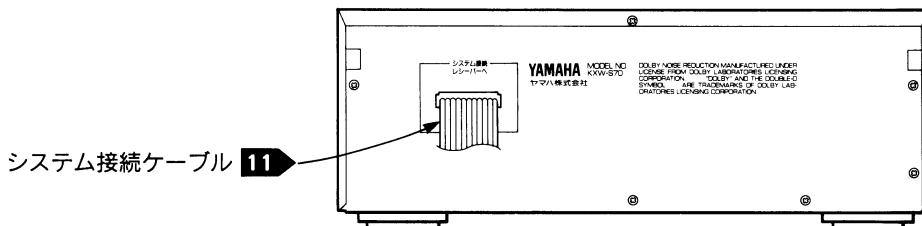
レシーバー部背面(RX-S70)



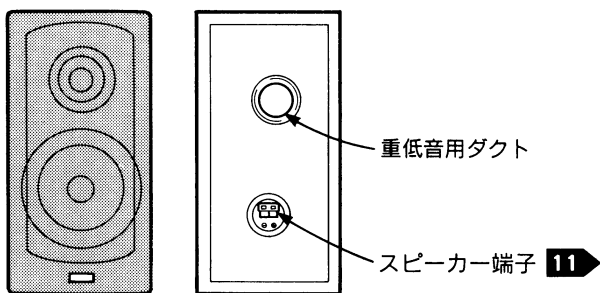
CD部背面(CDC-S90)



デッキ部背面(KXW-S70)

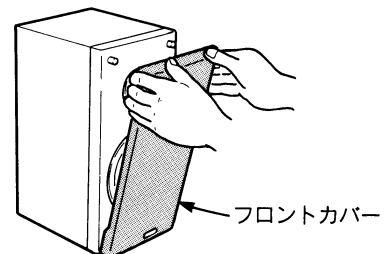


スピーカー部(NX-S70)



● フロントカバーは本体に、はめ込み式で取り付けられています。取り外す場合は、下図のようにフロントカバーの上部両側を持って手前に引いてください。

注) フロントカバーを取り付ける際、上下に注意してください。



お願い

スピーカーは防磁タイプではありませんのでテレビにあまり近づけないでください。テレビの画面が色ズレなどを起こすことがあります。

重低音用ダクトのなかに異物を入れたり、細長い棒を差し込んだりしないでください。万一、異物が入ったときは、スピーカーコードを抜いて販売店に連絡してください。

# 各部のなまえ

## リモコン

### CD操作部

CDダイレクト10-KEYボタン 19  
(1~0、+10)

タイム  
TIMEボタン

プログラム  
PROGボタン 21

テープ  
TAPEボタン 36

エディット  
EDITボタン

サーチ  
SEARCHボタン

スキップ  
SKIPボタン

ストップ  
STOPボタン

プレイ/ポーズ  
PLAY/PAUSEボタン

ディスク スキップ  
DISC SKIPボタン

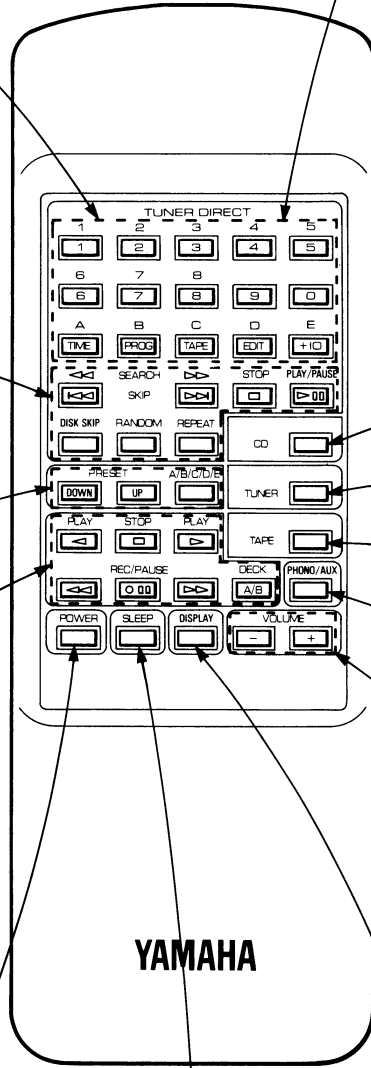
ランダム  
RANDOMボタン

リピート  
REPEATボタン

### チューナーダイレクト操作部

チューナーダイレクト  
TUNER DIRECTボタン(1~8、A~E) 30

各部のなまえ



### チューナー操作部

プリセット ダウン/アップ  
PRESET DOWN/UPボタン

A/B/C/D/Eボタン

### デッキ操作部

プレイ  
PLAYボタン

ストップ  
STOPボタン

ボタン(早巻き)

レック/ポーズ  
REC/PAUSEボタン

デッキ  
A/B DECKボタン  
(デッキA/B選択)

CDボタン

チューナー  
TUNERボタン

テープ  
TAPEボタン

フォノ/エーユーエックス  
PHONO/AUXボタン

ボリューム  
VOLUMEボタン(音量調整)

パワー  
POWERボタン(電源)

スリープ  
SLEEPボタン 45

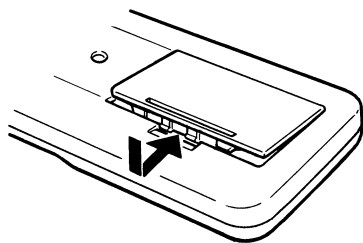
ディスプレイ  
DISPLAYボタン

のボタンは、リモコンのみ操作できます。

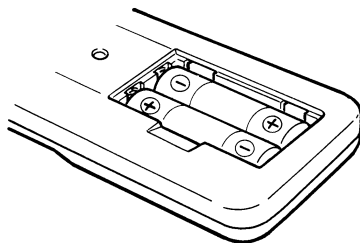
# リモコンについて

## 乾電池の入れかた

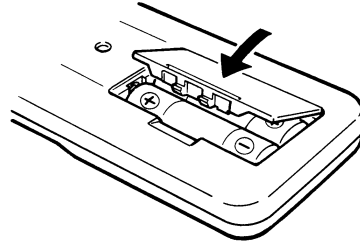
**1** 裏ぶたをはずす



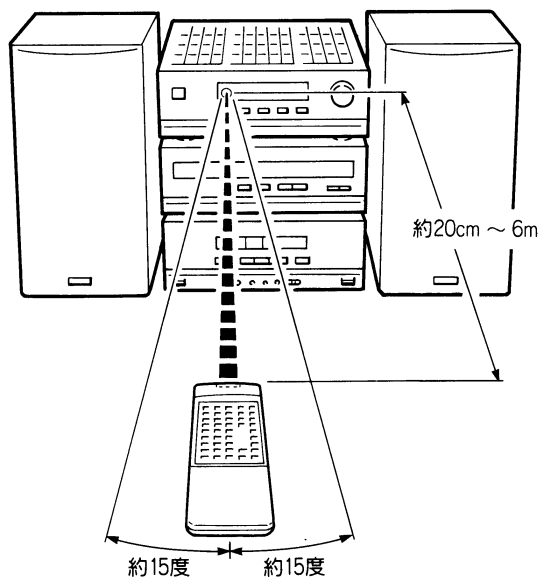
**2** 単3乾電池(2個)を入れる



**3** 裏ぶたを戻す



## リモコンの使用範囲

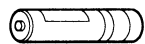


## リモコン取扱上のご注意

- 受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、温度の高い所には置かないでください。
- 受信部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）が当たっているとリモコンが動きにくくなります。照明または製品本体の向きを変えてください。
- 他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作をしないことがあります。

## ■リモコン用乾電池の交換時期

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。リモコン受信部に近寄らないと動作をしない場合は、乾電池を交換してください。



## 乾電池のご注意



乾電池は誤った使い方をすると、液もれや破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

1. 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを表示どおり正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。
4. 乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。
5. 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。
6. 液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

# お使いになる前の準備

## 接続上のご注意

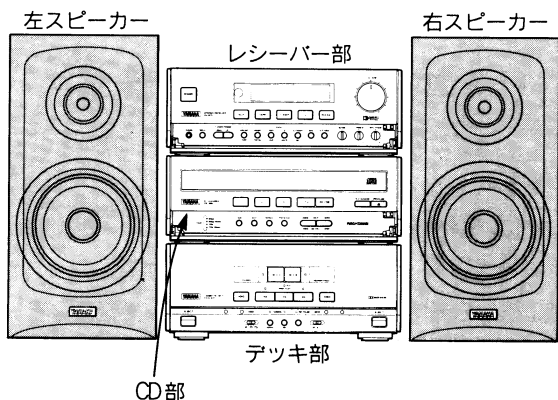
- コードは決められたとおりに接続してください。
- 各接続コードやプラグは最後までしっかりと差し込んでください。  
しっかり差し込まれていないと、雑音がでたり、スピーカーをいためる原因になります。
- スピーカーコードのプラス(+)、マイナス(-)をまちがえないように接続してください。
- この製品はアクティブ・サーボ・テクノロジーシステムを搭載していますので付属のスピーカー以外は使用しないでください。  
(他のスピーカーを使用した場合、故障の原因となります)
- 接続がすべて終わったあと、電源コードをコンセントに差し込んでください。

お使いになる前の準備

## 置きかた

### 縦に積み重ねる場合

…放熱性を良くするため、レシーバー部を必ず最上部に置いてください。CD部・デッキ部は、中央・下部のいずれかに置いてください。

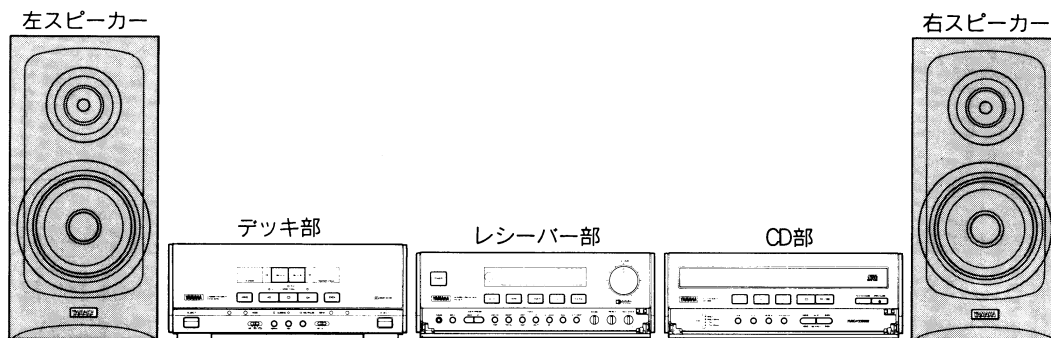


## 設置上のご注意

ラックなどに入れるときは、放熱を良くするため本機の天面5cm、背面10cm以上のすきまをあけてください。

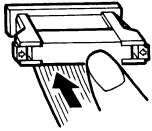
### 横に並べる場合

…レシーバー部を中央に置いてください。デッキ部・CD部は、左右どちらでも置けます。



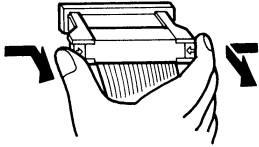
システムの機器と  
スピーカーの接続

差し込むには

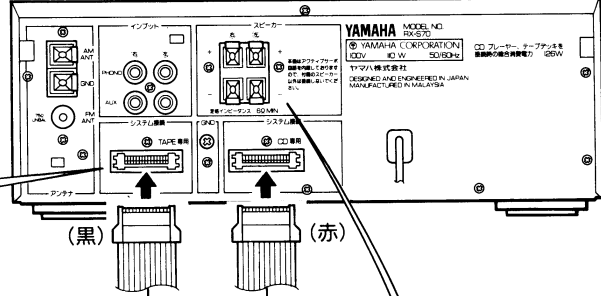


● 中央を押して差し込んでください。

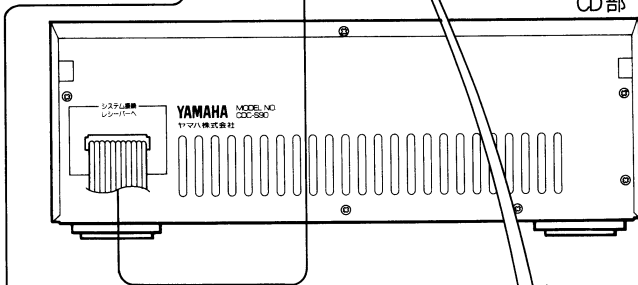
抜くには



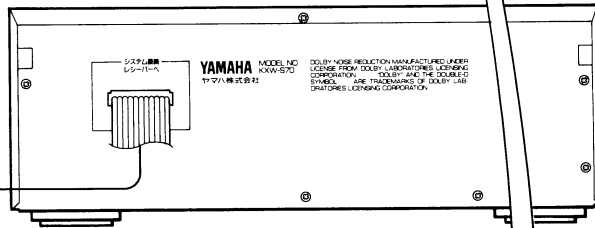
レシーバー部



CD部



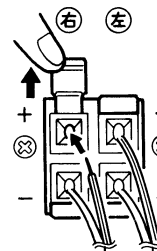
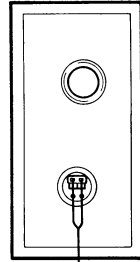
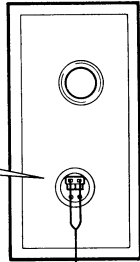
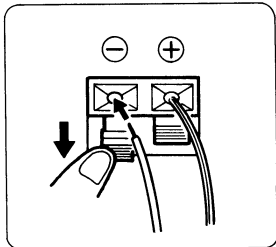
デッキ部



- レバーを開いたあと、コードを奥まで差し込みます。差し込んだあとは、レバーをもとにもどします。
- ライン入りのコードがプラス ⊕ です。

右スピーカー

左スピーカー

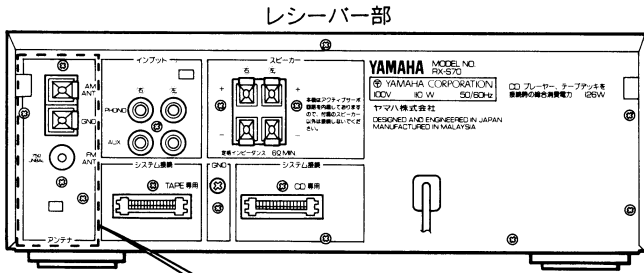


注) システムのスピーカー(NX-S70)以外は接続しないでください。

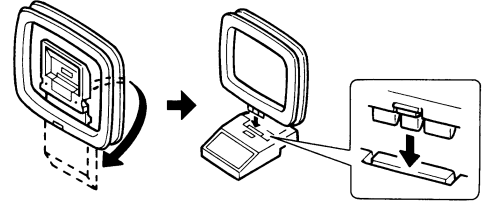
お使いになる前の準備

# お使いになる前の準備

## 付属アンテナの接続



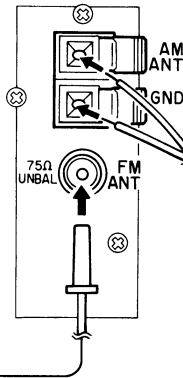
### AM用ループアンテナの組み立て



お使いになる前の準備

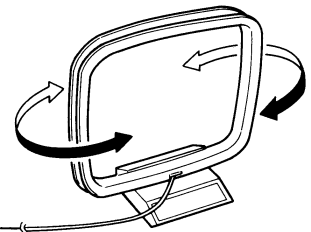
### FM用アンテナ

音を聞きながら歪や雑音の最も少ない位置に、押しピンなどで固定します。



### AM用ループアンテナ

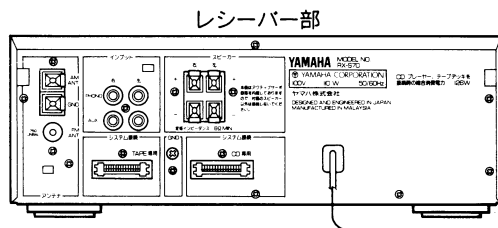
放送が最もきれいに聞こえる方向にします。アンテナは本体から離してください。本体や接続コードなどに近づけると雑音が入ることがあります。



## 電源コードの接続

各接続が終わったあと、電源コードを接続します。

- 電源コードを接続すると、レシーバー部のディスプレイ(表示)が点滅します。まず最初に時刻合わせ(15ページ)を行ってください。

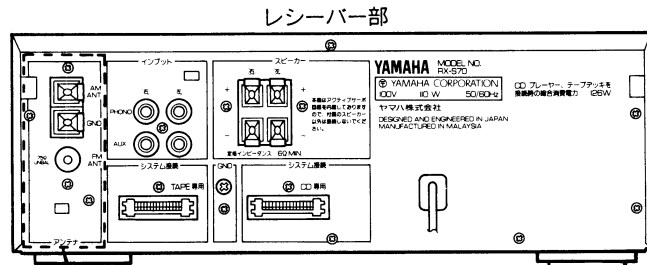


ACコンセント  
100V (50/60Hz)



## 屋外アンテナの接続

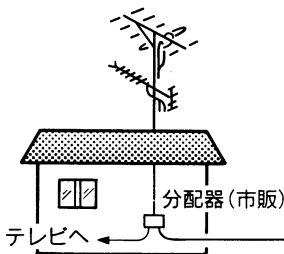
付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。  
(屋外アンテナのつなぎかたなど、くわしくは販売店におたずねください。)



お使いになる前の準備

### TV用アンテナ

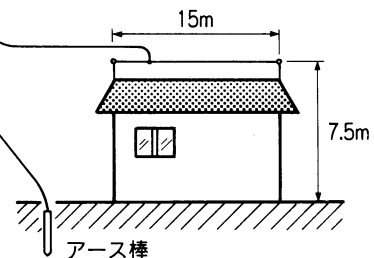
市販のFM屋外アンテナで受信できますが、分配器を使うとTV用アンテナでそのまま使用することができます。



75Ω同軸ケーブル (市販)

### AM用アンテナ

できるだけ、高さ7.5m、水平部15mに近い寸法のアンテナ線を屋根または地上に張ると効果的です。アースをつなぐとさらに感度がよくなります。



## — 屋外アンテナを立てる場所について —

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 送電線の下には立てないでください。送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。
- 落雷のおそれがありますのであまり高い所には立てないでください。

## — アース棒について —

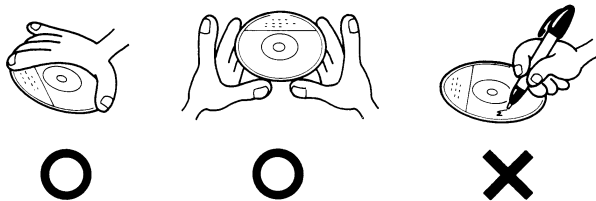
通常の受信では必要ありませんが、雑音防止と安全のため地中にアースをとることをお勧めします。アースは市販のアース棒が銅版にビニール被覆線を接続して、湿気が多い地中に深く埋めてください。水道管やガス管にアースを取り付けることは、感電や火災などの危険防止のため、絶対におやめください。

# CDやテープについて

## コンパクト ディスク CD (COMPACT DISC) について

### 取り扱いについて

- 必ず右図のマークが入っているコンパクトディスクをお使いください。
- 演奏面は、文字のある反対の面です。演奏面に触れないでください。
- 必ず、ディスクの縁を持ってください。
- 文字のある面を硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。信号をそこないますので、演奏面と同様にキズをつけないよう注意してください。



### 保管場所のご注意

ほこりやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

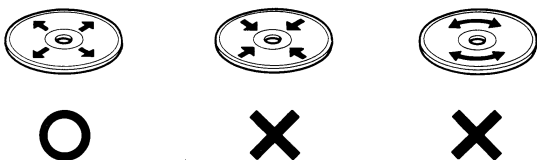
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる所 (特に密閉した自動車内など)
- 暖房器具の近く
- ほこりや湿気の多い所

### お手入れのしかた

指紋やほこりなど汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、柔らかい布で、中央から縁の方向にまっすぐに軽くふきとってください。

- 矢印と反対の方向にふいたり、普通のレコードのようにまわしながらふいたりしないでください。

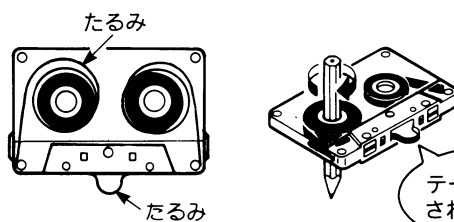


- 次のものは使用しないでください。
  - ベンジンやアルコールなどの溶剤
  - 研磨材を含むクリーナー
  - レコード用のスプレーやクリーナー
  - 静電気防止剤

## テープについて

### 取り扱いについて

- C-120テープや一部のリール付デザインのテープは薄く伸びやすいためできるだけ使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合がありますので注意してください。
- テープをお使いになる前に、たるみがないか、シワが入っていないか確かめてください。テープのたるみは鉛筆やボールペンなどで巻き取ってください。たるみやシワのあるテープを使うと、テープが切れたり、機械に巻きついたりすることがあります。



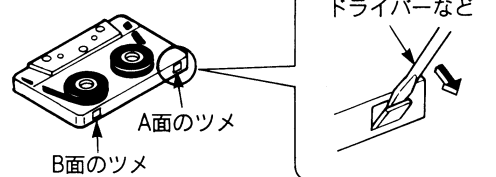
### 避けてほしい保管場所

- 直射日光が長時間あたる所 (特に密閉した自動車内等)
- 暖房器具の近く
- ほこりや湿気の多い所
- 磁気のある所 (スピーカーの近くやテレビの上など)

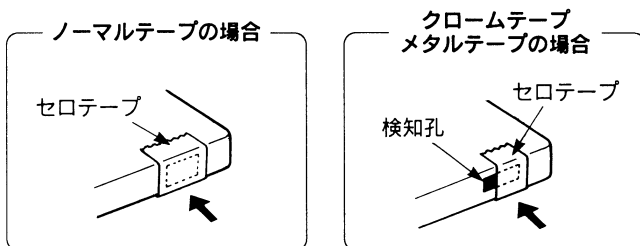
### 大切な録音を誤って消さないために

- テープの消去防止用のツメを折って取りのぞいておくと、録音ができなくなり大切な録音をあやまって消すことがあります。

A面を上にしたとき



- もう一度録音したり、録音を消したいときは、ツメを折った部分を、セロテープなどでふさぎます。

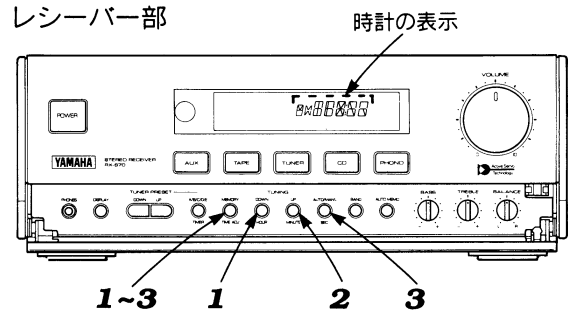


オートテープセレクト機構はテープの検知孔によって判別しますので、クロームテープの穴をふさぐ場合は、ツメがあった部分だけをふさいでください。



# 時刻の合わせかた

- 電源コードをつなぐとディスプレイ部が、点滅します。電源を入れずに、つぎの方法で時刻を合わせてください。

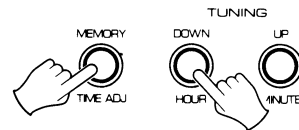


## (例) 午前10時30分に合わせるとき

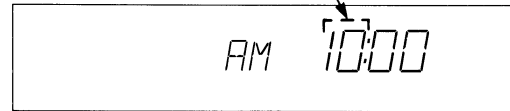
### 1 “時” 合わせ

タイム アジャスト  
TIME ADJボタンを押したまま、アワー  
ボタンを押す。

- 1回押すと1時間進みます。
- 押し続けると、連続して進みます。  
希望の時刻で、HOURボタンから指をはなします。



“時”表示

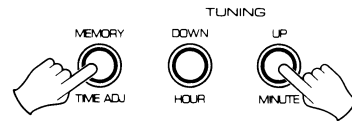


AM0:00は夜を、PM0:00は  
昼を表わします。

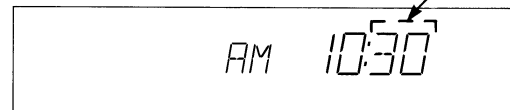
### 2 “分” 合わせ

タイム アジャスト  
TIME ADJボタンを押したまま、ミニッツ  
ボタンを押す。

- 1回押すと1分進みます。
- 押し続けると、連続して進みます。  
希望の時刻でMINUTEボタンから指をはなします。
- “分”設定中は、“59”から“00”になっても時  
間は変わりません。



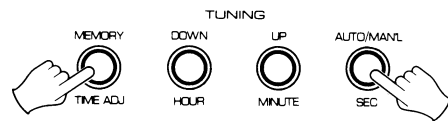
“分”表示



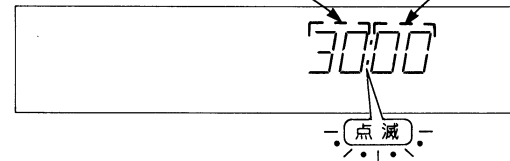
### 3 “秒” 合わせ

セック  
SECボタンを押す。  
分：秒の表示に変わります。  
セック  
SECボタンを押したまま、タイム アジャスト  
TIME ADJボタンを押す。“0”秒になります。

- TIME ADJボタンを押す前の秒表示が30秒以上の場  
合は、“分”が1分繰り上がります。このとき  
“分”が59の場合、時間も1時間繰り上がります。
- 秒まで正しく合わせるときは電話の時報サービ  
ス(117番)をご利用になると便利です。(有料)



“分”表示 “秒”表示



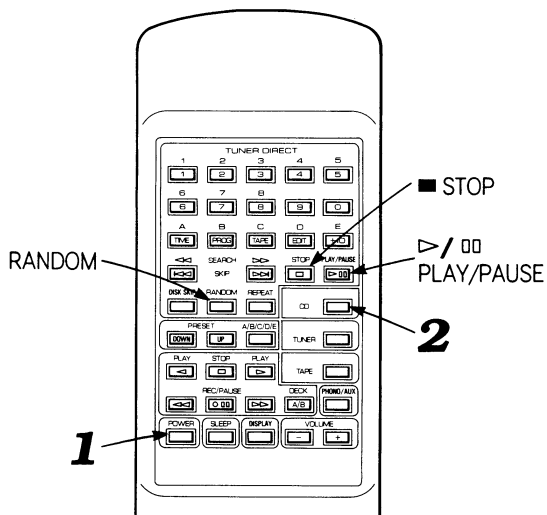
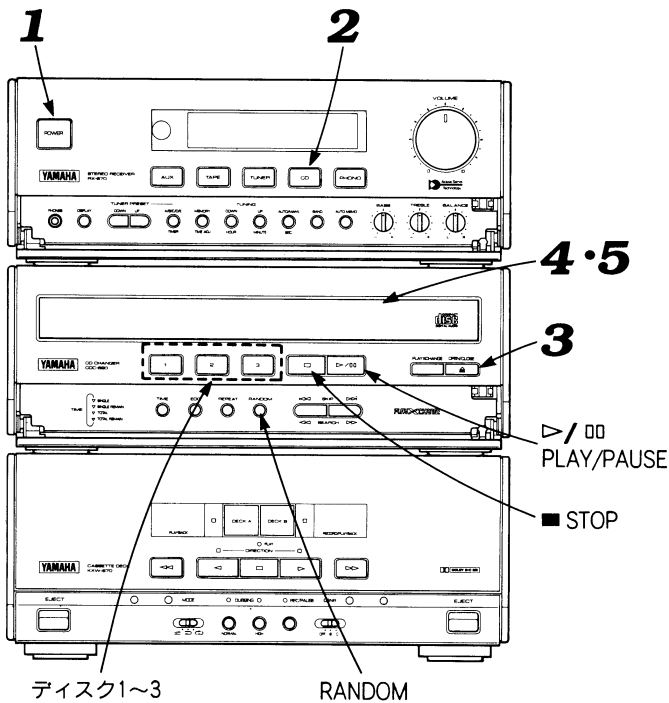
- 30分以上電源コードが抜けたり、停電になると、時  
計は停止します。  
再び、通電すると時計表示は点滅しますので、もう  
一度時刻を合わせ直してください。

- 時計表示が点滅の場合、タイマー再生・録音はでき  
ません。

# CDを聞くには

●音量

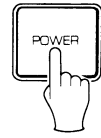
## 1 曲目から聞くには



### ご注意

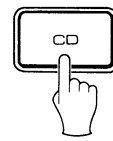
CDをディスクトレイに入れたままの状態、本機を移動したり傾けたりしないでください。

## 1 電源を入れる



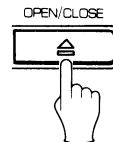
● **POWER** ボタンを押す

## 2 ファンクションをCDにする



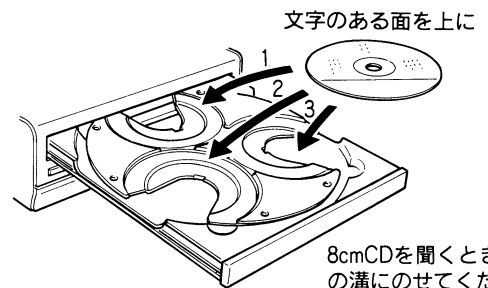
● **CD** ボタンを押す

## 3 ディスクトレイを開ける



● **OPEN/CLOSE** ボタンを押す  
オープン クローズ  
"OPEN" 表示をします。

## 4 CDを入れる

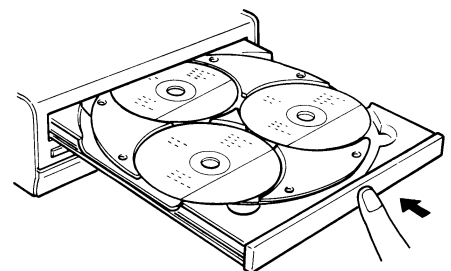


8cmCDを聞くときは、中央の溝にのせてください。

● ディスク番号1 からCDをセットします。  
1枚ずつ、最大3枚までセットできます。

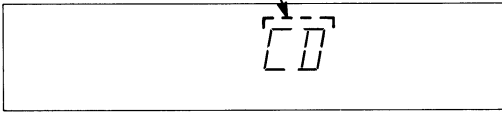
## 5 ディスクトレイを軽く押す

CD演奏がスタートします。

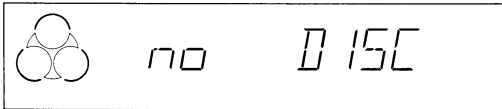


や音質は31ページをごらんの上調整してください。

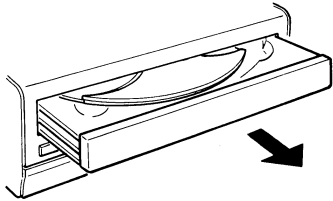
約1秒間表示



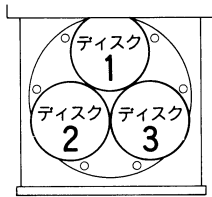
↓ ディスクトレイにCDが有るか検索します。



CDが入っていないことを表わします。



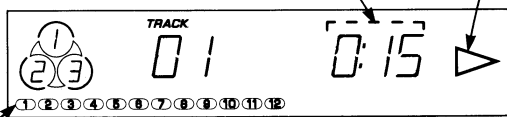
- ディスクトレイを開けると、必ず下図の状態になります。



ディスクトレイにはそれぞれ番号がついています。その番号がセットしたディスクの番号になります。

- PLAY/PAUSEボタンを押しても、同様にディスクトレイが閉まって演奏が始まります。

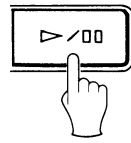
曲ごとの経過時間 演奏表示



1曲目を演奏中

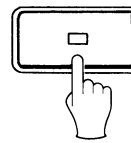
ミュージックカレンダーは、演奏の終わった曲から消えて行きます。

## 演奏を一時的に止めるには



- <sup>プレイ</sup> <sup>ポーズ</sup> PLAY/PAUSEボタンを押す (“▷”表示が点滅)
- 再び演奏を始めるときは、 <sup>プレイ</sup> <sup>ポーズ</sup> PLAY/PAUSEボタンを押す

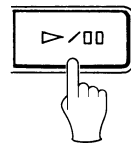
## 演奏を止めるには



- <sup>ストップ</sup> STOPボタンを押す (“▷”表示が消える)

## ワンタッチ演奏

CDがディスクトレイに入っていれば、ファンクションが別のソースでも、ワンタッチでCDの演奏を始めることができます。

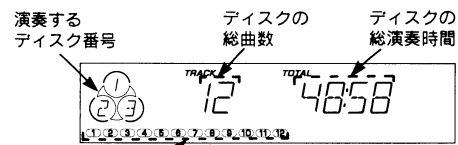


- <sup>プレイ</sup> <sup>ポーズ</sup> PLAY/PAUSEボタンを押す  
または <sup>ランダム</sup> RANDOMボタン、ディスク1~3のいずれかを押してもワンタッチ演奏ができます

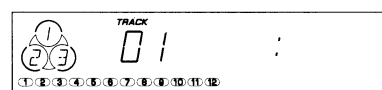
このとき、テープ演奏中の場合はテープストップします。



- CDを入れたあと、 OPEN/CLOSEボタンを押すと、ディスクトレイを閉じてディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。



ミュージックカレンダー (12曲入りの場合) ↓ (数秒後に)

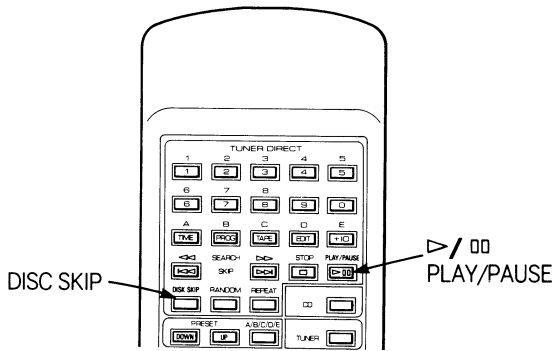
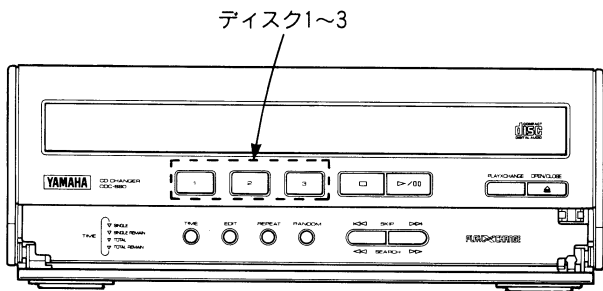


21曲以上入ったCDを入れると“OVER”マークがつきます。

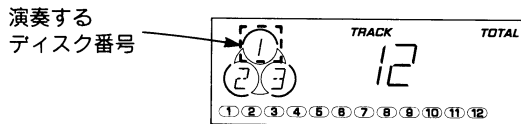
- 演奏をスタートさせるときは、 PLAY/PAUSEボタンを押します。

# CDを聞くには

## 好きなCDから演奏するには



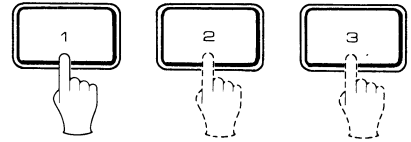
### ● ディスプレイ部



CDを聞くには

### ■ 本体で操作するには

演奏したいディスク番号のディスク1~3ボタンを押します。選んだディスク番号にディスクがあると、自動的に演奏を始めます。



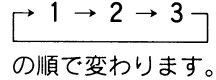
選んだディスク番号にディスクが無い場合は、選ぶ前のディスク番号に戻り、無いディスク番号表示は消えます。

### ■ リモコンで操作するには

DISC SKIPボタンを押すごとに、ディスク番号が変わります。選択後、(▶) PLAY/PAUSEボタンを押します。



ディスク番号は

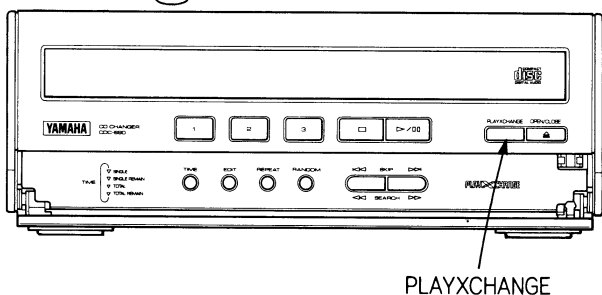


の順で変わります。

無いディスク番号は、飛ばします。

## 演奏中に他のディスクを交換するには

CD本体のみ  
操作できます



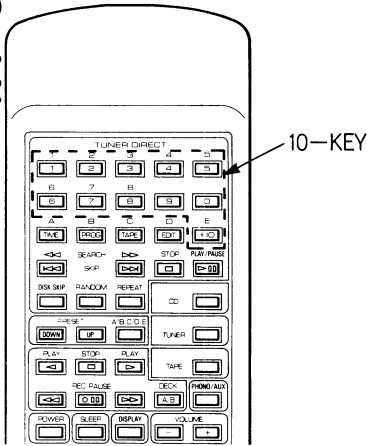
プレイエクステンジ

- 演奏中にPLAYXCHANGEボタンを押すと、CDを演奏したままトレイを開閉できます。演奏中に他のディスクの交換や取り出しができます。このとき、ディスクボタン(CD本体)とDISC SKIPボタン(リモコン)の操作はできません。

注) 複数のディスクにわたってプログラム選曲した場合は、PLAYXCHANGE操作はできません。

聞きたい曲を聞くには  
(ダイレクト選曲演奏)

リモコンのみ  
操作できます



- リモコンの10-KEYで曲番を指定します。

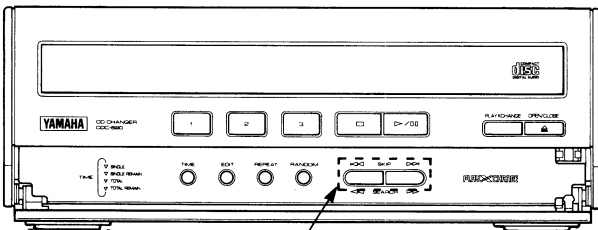
— たとえば、20曲目を選ぶときは —

**+10** → **+10** → **0** と押します。  
(3秒以内に) (3秒以内に)

選んだ曲の頭から演奏を始めます。

- CDに入っている曲数より大きい曲番を選ぶと、最終曲を演奏します。

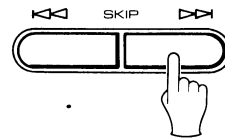
とびこして聞くには  
(自動頭出し演奏)



SKIP

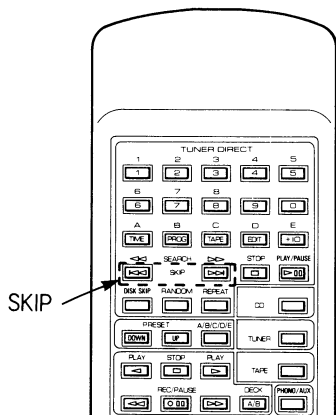
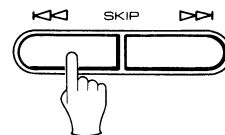
次の曲の頭から聞くには

演奏中に、 スキップ SKIPボタンを押す。



演奏中の曲を聞き直すには

演奏中に、 スキップ SKIPボタンを押す。

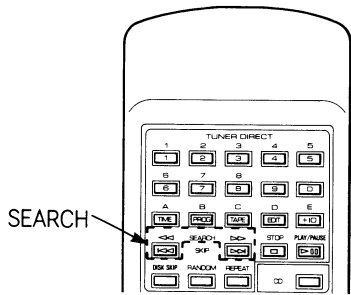
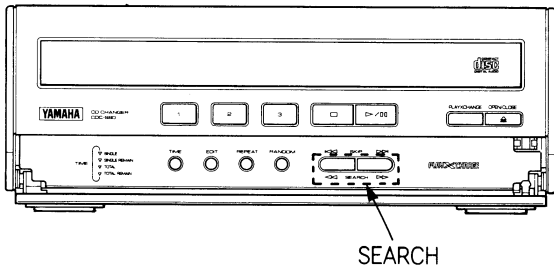


注) / , / ボタンは、チョン押しではスキップボタン、連続押しではサーチボタンとして働きます。

- くり返して押しすと、曲番表示に表示された曲から演奏が始まります。
- ランダム演奏中は、後退 () してとびこすことはできません。

# CDを聞くには

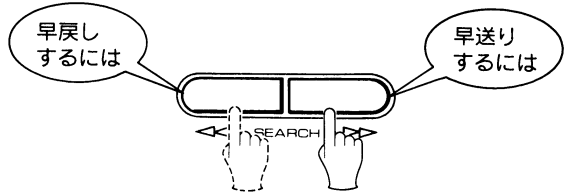
## 聞きたい所をさがすには (早聞き演奏)



- PAUSE (一時停止) 中でもサーチ操作はできます。(音声なし)

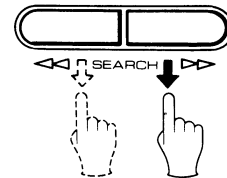
注) ▷▷ / ◁◁, ◁◁ / ▷▷ ボタンは、チョン押しではスキップボタン、連続押しではサーチボタンとして働きます。

## 1 演奏中に、<sup>サーチ</sup>SEARCHボタンを押し続ける



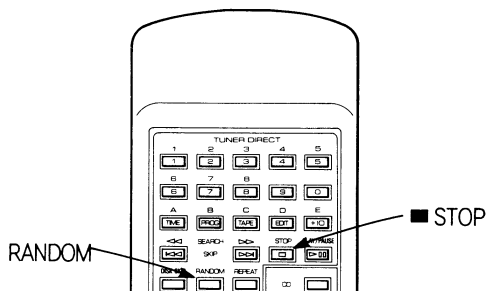
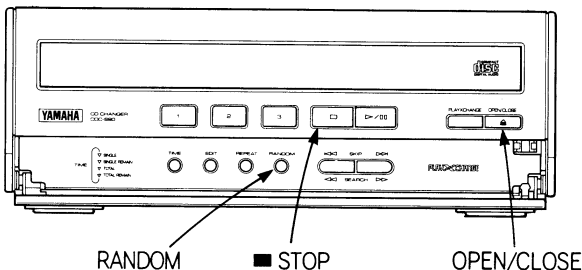
(1/4の音量)

## 2 聞きたい所で、<sup>サーチ</sup>SEARCHボタンから指を離す

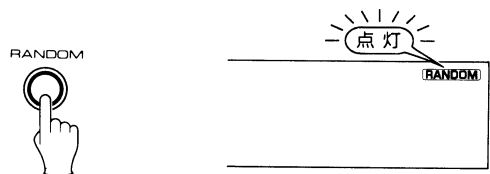


- その位置から演奏が始まります。(元の音量に戻る)

## 順不同で聞くには (ランダム演奏)



## <sup>ランダム</sup>RANDOMボタンを押す。



- プログラム選曲をすると、ランダム演奏ができません。
- 全ディスクのランダム演奏をしたい場合は、REPEATボタンを押して“A REP”を設定してください。(22ページ参照)

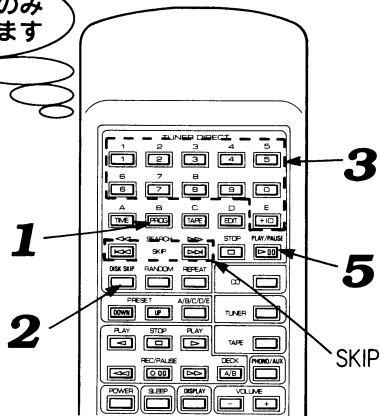
### 解除のしかた

◻ STOPまたはRANDOMボタンを押します。また、OPEN/CLOSEボタンを押してトレイを開けると解除されます。

## 聞きたい曲を聞きたい順に 記憶させて聞くには (プログラム演奏)

聞きたい曲を最大で20曲までプログラムして、好きな順に聞くことができます。  
プログラムする曲は、3枚のディスクから選べます。

リモコンのみ  
操作できます

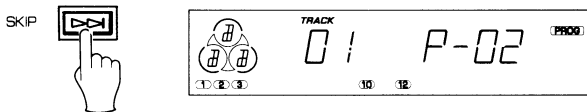


### プログラムの確認/訂正

1. 停止中に、<sup>プログラム</sup>PROGボタンを押す



2. <sup>スキップ</sup>SKIPボタン( ) または ( ) を押す  
押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。



3. プログラムを訂正したいとき

訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと10-KEYボタンで選びます。

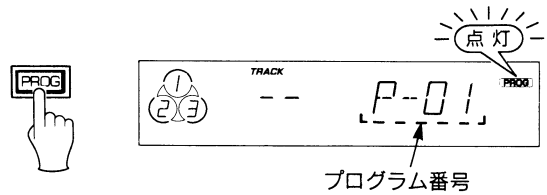
注) 演奏中や一時停止中にプログラムの確認や訂正はできません。

### プログラムの解除



● 停止中に <sup>ストップ</sup>STOPボタンを押す  
プログラムされた内容はすべて解除されます。またトレイを開けたり電源を切ると同様に解除されます。

1 停止中に、<sup>プログラム</sup>PROGボタンを押す

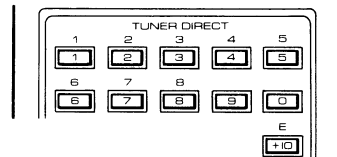


2 ディスクを選ぶ

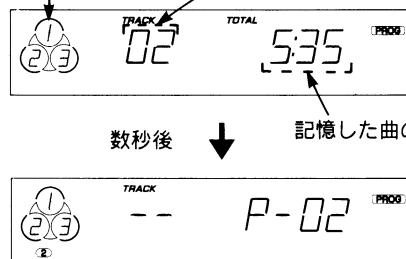


- 同一ディスクをプログラムする場合は、操作する必要ありません。③の操作をしてください。
- ディスクを選ぶとき、本体のディスク1~3ボタンでも選べます。

3 曲番を選ぶ



記憶したディスク番号 記憶した曲番  
↓  
数秒後 ↓ 記憶した曲の合計時間



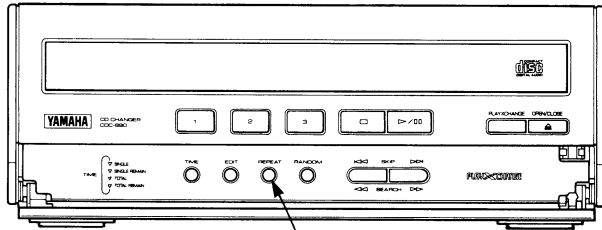
4 手順②・③をくり返して好きな曲をプログラムする(20曲まで選べます。)

5 <sup>プレイ</sup>PLAY/PAUSEボタンを押す

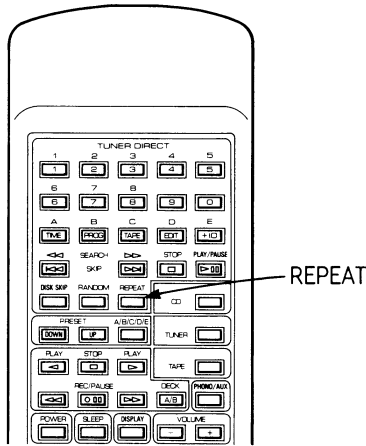


- プログラム演奏がスタートします。

くり返し聞くには  
(くり返し演奏)



REPEAT



REPEAT

リピート状態を示す



リピート  
REPEATボタンを押す。



● ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

シングルリピート (1曲) : S REP

● 演奏中の曲が繰り返し演奏します。

フルリピート (全曲) : F REP

● 演奏中のディスク全体を繰り返し演奏します。

オールリピート (全ディスク) : A REP

● トレイにセットされたCD全部を繰り返し演奏します。

リピート解除 : 消灯

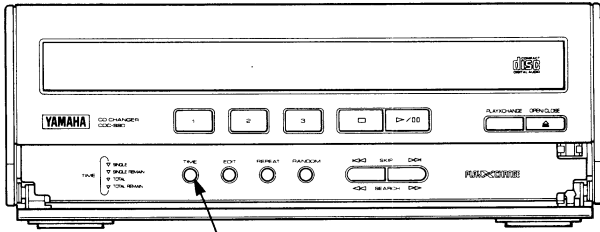
● プログラム演奏・ランダム演奏もくり返し演奏できます。

プログラム演奏のリピート (21ページ参照)	A REP(オールリピート)では、プログラムのリピートになります。 F REP(フルリピート)では、プログラムのリピートはしません。
ランダム演奏のリピート (20ページ参照)	A REP(オールリピート)では、3枚のディスク間でランダムリピートします。 F REP(フルリピート)では、1枚のディスク内のランダムリピートになります。

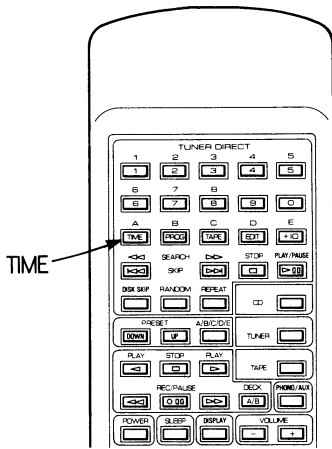
注) エディット状態(35~37ページ参照)では、S REP, F REPは解除します。  
A REPでは、セットされたCDを全部演奏しますが、リピートはしません。



演奏時間の表示を  
切り換えるには



TIME



TIME

例) 2曲目を演奏しているとき

タイム

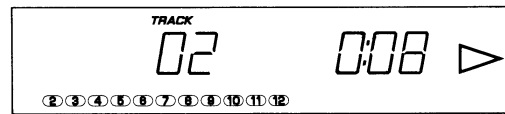
TIMEボタンを押す。

TIME



● ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

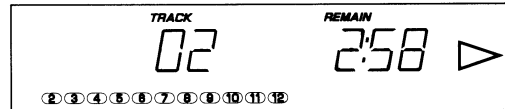
曲ごとの演奏経過時間



(2曲目の頭から8秒間経過しています。)



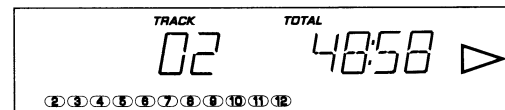
曲ごとの残り時間



(2曲目の終わりまであと2分58秒です。)



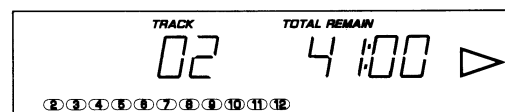
総演奏時間



(通常は、ディスクの全演奏時間を表示します。プログラム演奏時は、プログラムの全曲演奏時間を表示します。)



今聞いているところから、  
CDの終わりまでの総残り時間



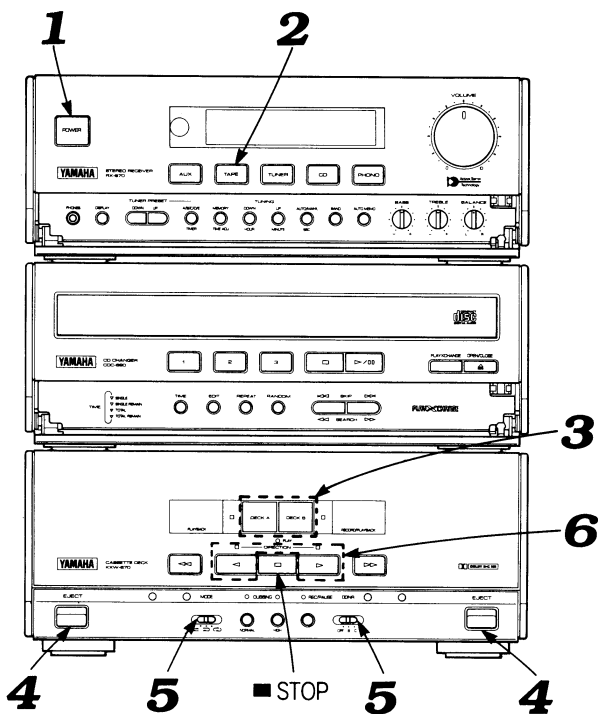
(CDの終わりまたはプログラムの終わりまであと41分です。)

- ランダム演奏中は、総残り時間の表示はしません。
- お使いになるCDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。
- 21曲以上入ったCDをお使いのときは、次のような場合“--|--”が表示されます。
  - ① 20曲目以降を演奏中に、残り時間に切り換えた場合。
  - ② プログラム選曲で20曲目以降の曲番を記憶した場合。
- プログラム選曲の総演奏時間が100分を超えた場合、3桁目の表示はしません。
- プログラム設定中にTIMEボタンを押すと、プログラムの総演奏時間を一旦表示します。
- テーププログラム設定中に、TIMEボタンを押すと、設定したテープの長さ(片面)に対する残量時間を一旦表示します。

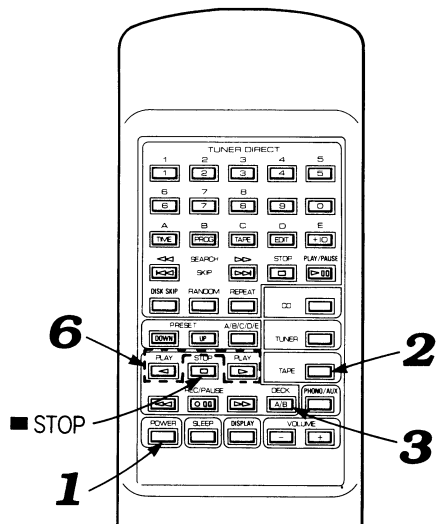
# テープを聞くには

●音量

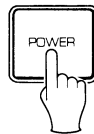
ふつうに聞くには



テープを聞くには



## 1 電源を入れる



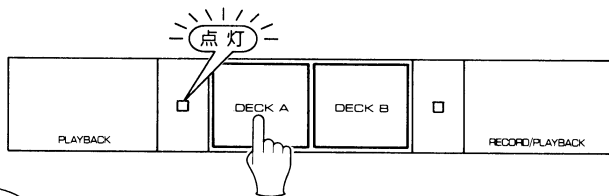
●POWER ボタンを押す

## 2 機能をTAPESにする

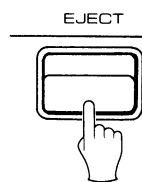


●TAPE ボタンを押す

## 3 デッキを選ぶ



## 4 テープを入れる



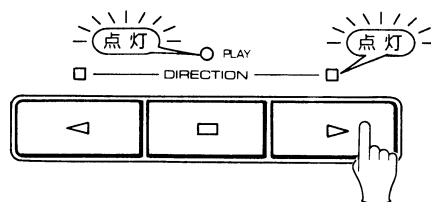
●テープを入れるデッキ側の  
EJECTボタンを押す

## 5 ドルビーノイズリダクション モード NR と MODE を選ぶ

OFF	ドルビーNR録音されていないテープ
B	ドルビーB NR録音されているテープ
C	ドルビーC NR録音されているテープ

※ドルビーNRについては、51ページ参照

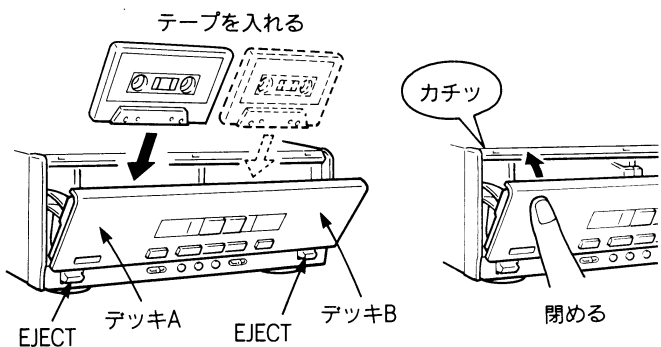
## 6 聞きたい面をスタートさせる



や音質は31ページをごらんのうえ調整してください。

T A P E

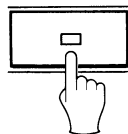
●選んだデッキの表示ランプが点灯する



MODE	⇌	片面だけを再生するとき
	U	両面を1回だけ再生するとき (▷から◁方向へ)
↔	↻	両面を繰り返して再生するとき (8回でストップします)

	◁	B面(反対の面)を再生するとき
	▷	A面(手前の面)を再生するとき

## テープを止めるには

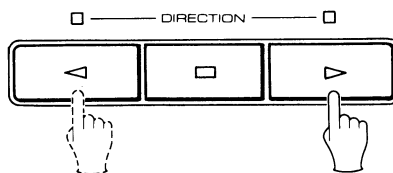


● <sup>ストップ</sup>STOPボタンを押す

●再生中に、他のファンクションボタンを押すと、テープは自動的に止まります。

## ワンタッチ再生

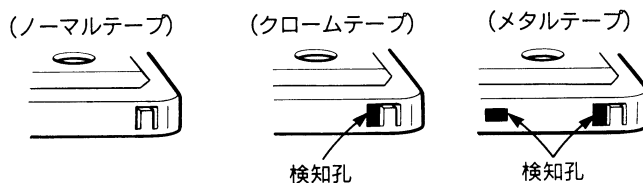
テープが入っていれば、ファンクションが別のソースでも、ワンタッチでテープを再生することができます。(CD演奏中の場合は、CDストップします。)



聞きたい面のボタンを押す

## — オートテープセレクト機構について —

テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープ、メタルテープを自動的に判別するようになっています。



## ご 注 意

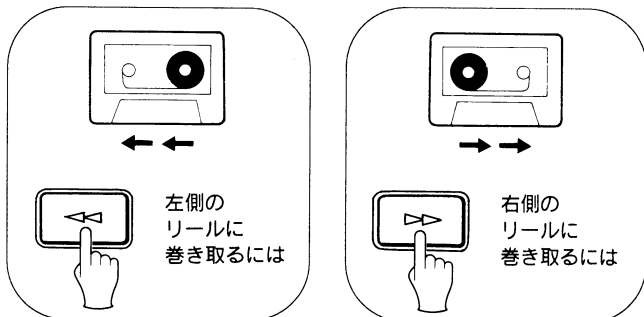
カセットテープを取り出すときは、 STOPボタンを押して停止状態にして、EJECTボタンを押してください。

テープを聞くには

# テープを聞くには

## テープを早く巻き取るには

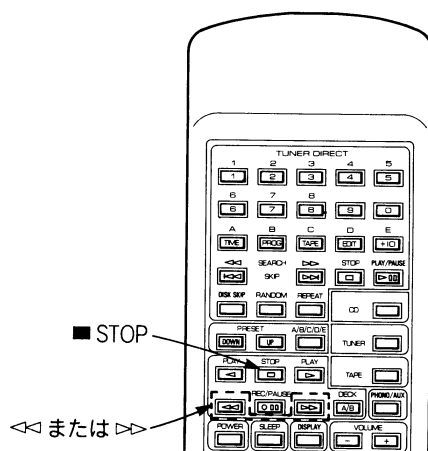
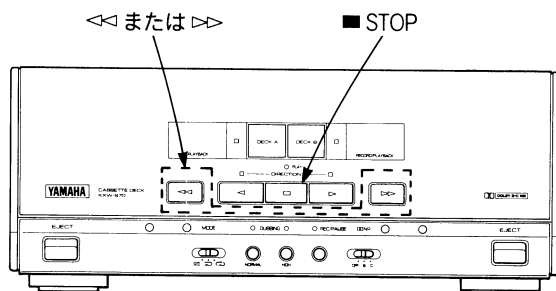
停止中に◀◀または▶▶ ボタンを押す。



- 早巻き方向のPLAY表示ランプが早く点滅します。
- お望みのところまで巻き取ったら STOPボタンを押します。

■テープ早巻き中にテープの端まで送ったときは、MODEスイッチの位置により次のように自動再生します。

	▶▶ 早巻き中	◀◀ 早巻き中
	ストップする	ストップする
	◀方向を再生する	ストップする
	◀方向を再生する	▶方向を再生する

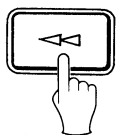


テープを聞くには

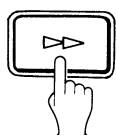
## 曲の頭出しをするには (自動頭出し演奏)

再生中に◀◀または▶▶ ボタンを押す。

■ A面(手前の面)を聞いているとき ■

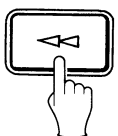


今の曲の頭へ

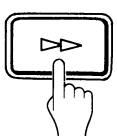


次の曲の頭へ

■ B面(裏の面)を聞いているとき ■



次の曲の頭へ



今の曲の頭へ

- 頭出しをする方向のPLAY表示ランプがゆっくり点滅します。

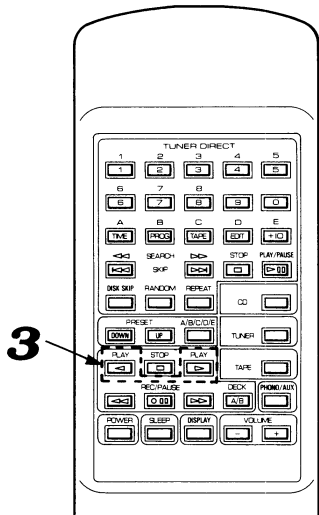
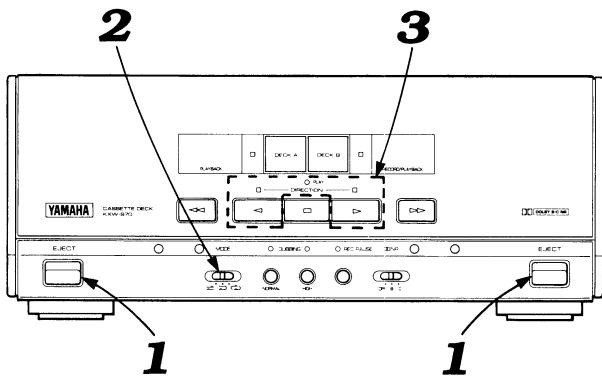
### 自動頭出し演奏が正しく動作しないのは？

次のようなテープを使うと、自動頭出し演奏が正しく動作をしないことがあります。

- 録音レベルが低すぎたり(音が小さい)、会話など音声がとぎれているとき。
- テープの曲間(無音部)が4秒以下のとき。
- 音が非常に小さい部分が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分があるとき。
- 曲間に大きな雑音録音されているとき。

※ 曲の始めの部分や終わりの部分で頭出しすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらないことがあります。

テープAとテープBを連続して  
聞くには (連続再生)



**1** 両方にテープを入れる

**2** モード  
MODEスイッチを“”にする

● “”、“”の位置では、連続再生できません。

**3** または プレイ  
PLAYボタンを押す

テープを聞くには

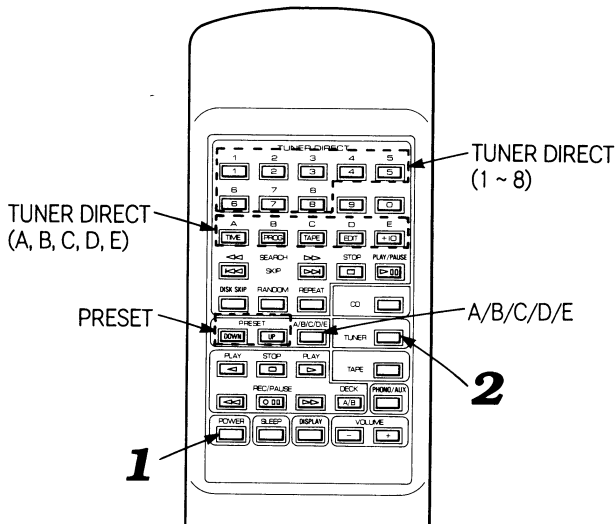
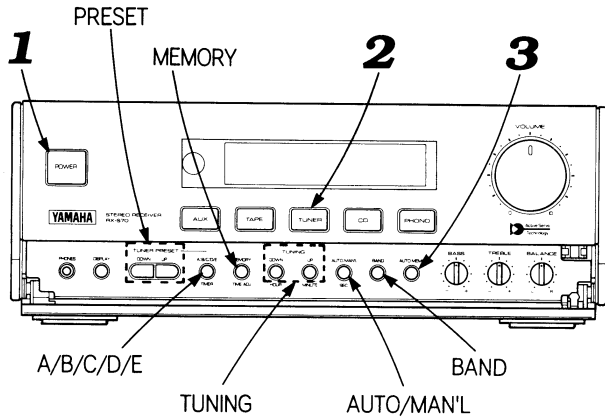
● 始めるPLAYボタンによって、次のような順序で連続再生します。

ボタン操作	再生順序
	<p>テープAのA面(手前の面)から再生します ※ テープBのB面が8回再生し終わったところで ストップします。</p>
	<p>テープAのB面(反対の面)から再生します ※ テープBのB面が8回再生し終わったところで ストップします。</p>

注) デッキA/B選択がBの場合は、テープBから連続再生します。

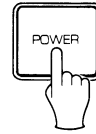
# ラジオ放送を聞くには

## 放送局を記憶させるには (オートメモリー)



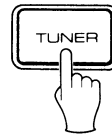
ラジオ放送を聞くには

### 1 電源を入れる



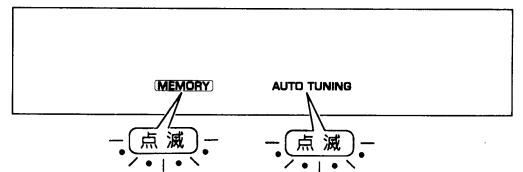
● POWER ボタンを押す

### 2 機能をTUNERにする



● TUNER ボタンを押す

### 3 オートメモリー AUTO MEMOボタンを約2秒間 押し続ける (オートメモリーをスタート)



### —チューナーの記憶保持について—

一週間は電源コードを電源コンセントから外しても、チューナーの記憶内容は消えずに記憶しています。ただし、一週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。そのときは、再び放送局を記憶させてください。

### 参考

オートメモリーや自動同調しているときに、周囲に妨害電波があると、そこで自動停止することがあります。このようなときは、マニュアルメモリーで記憶させてください。

A～Eのグループにそれぞれ8局、合計40局  
記憶(メモリー)することができます。

## 手動で記憶させるには (マニュアルメモリー)

オートメモリーで、電波が弱くて記憶されないときや電波が強すぎて周波数がずれるとき、または、記憶内容の一部を変えたいときは、次の操作をしてください。

1. <sup>チューナー</sup>TUNERボタンを押す。
2. <sup>バンド</sup>BANDボタンで希望のバンドを選ぶ。
3. <sup>チューニング</sup>TUNINGボタンの<sup>ダウン</sup>DOWNまたは<sup>アップ</sup>UPで希望の放送局を選ぶ。

### 自動同調

<sup>オート</sup>AUTO/<sup>マニュアル</sup>MAN'Lボタンで<sup>オート</sup>AUTO <sup>チューニング</sup>TUNINGを点灯させる。

**DOWNボタン** : 周波数が下がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

**UPボタン** : 周波数が上がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

### 手動同調

<sup>オート</sup>AUTO/<sup>マニュアル</sup>MAN'Lボタンで<sup>オート</sup>AUTO <sup>チューニング</sup>TUNINGを消灯させる。

**DOWNボタン** : 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が下がり、押し続けると連続して周波数が下がります。

**UPボタン** : 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が上がり、押し続けると連続して周波数が上がります。

4. <sup>メモリー</sup>MEMORYボタンを押す。  
↓ (5秒以内に)

5. A/B/C/D/Eボタンで記憶させたいグループを選ぶ。  
(リモコンのTUNERDIRECTボタンA～Eも使用できます。)

6. 本体の<sup>プリセット</sup>PRESETボタンの<sup>ダウン</sup>DOWNまたは<sup>アップ</sup>UPで記憶させたい番号を選ぶ。  
(リモコンのTUNERDIRECTボタン1～8も使用できます。)

7. もう一度、<sup>メモリー</sup>MEMORYボタンを押すと、選んだプリセット番号の所に記憶されます。

TUNER

TUNER表示して、数秒後に  
周波数表示に切り換わります

- FMの放送局をA1から順に記憶し、次にAMの放送局を記憶します。
- 周波数の低い方から順番に記憶します。
- 最大40局まで記憶します。
- 記憶が終わると、MEMORYの点滅が消えて、最初に記憶された放送局が聞こえます。  
(AUTO TUNINGは点灯します。)
- 基本的にFMは、A、B、Cのグループ内に、AMはD、Eのグループ内に記憶しますが、受信できる局が少なく規定のグループに達しない場合は、グループを詰めて記憶します。  
(受信できる局がなくても、FM、AMで1グループずつは確保します。)  
グループ内で余ったプリセット番号や、余ったグループのプリセット番号は、そのバンドのスタート周波数(一番低い周波数)を記憶します。
- 放送局を記憶させたあと、もう一度オートメモリーさせると、先に記憶されている局は消えます。

### 参考

- FM放送を記憶させるときは、<sup>オート</sup>AUTO/<sup>マニュアル</sup>MAN'Lボタンを使ってステレオ/モノラルを設定することができます。記憶させていない番号に、ステレオモードを記憶しておけば、“ザー”という雑音がなくなります。

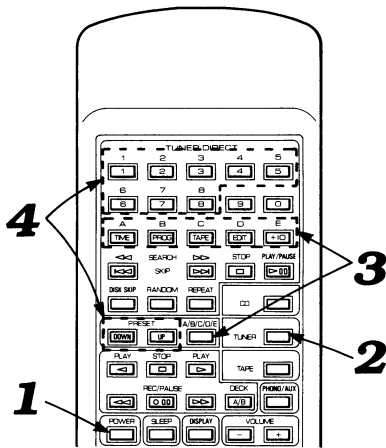
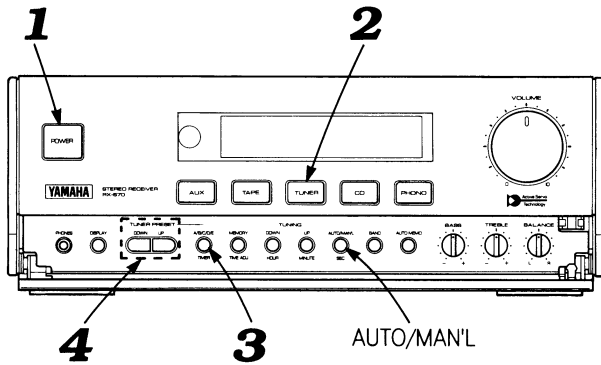
AUTO TUNING 点灯..... オートステレオ  
AUTO TUNING 消灯..... 強制モノラル

# ラジオ放送を聞くには

●音量や音質は31ページをごらんのように調整してください。

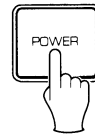
## 記憶した放送局を呼び出すには

あらかじめ、「放送局を記憶させるには」の説明をごらんになり、放送局を記憶させておいてください。  
(記憶させないと、呼び出すことはできません。)



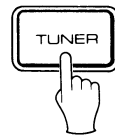
ラジオ放送を聞くには

### 1 電源を入れる



● **POWER** ボタンを押す

### 2 ファンクションを<sup>チューナー</sup>TUNERにする

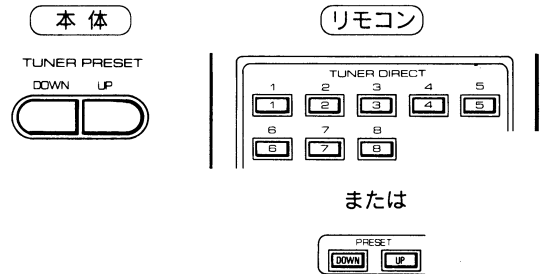


● **TUNER** ボタンを押す

### 3 記憶させたグループを選ぶ



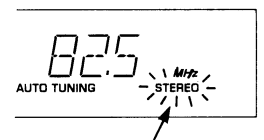
### 4 記憶させた番号を選ぶ



"A6"にFM82.5MHzの放送局が記憶されています。

## FMステレオ放送を聞くには

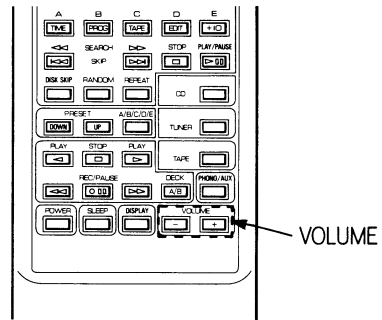
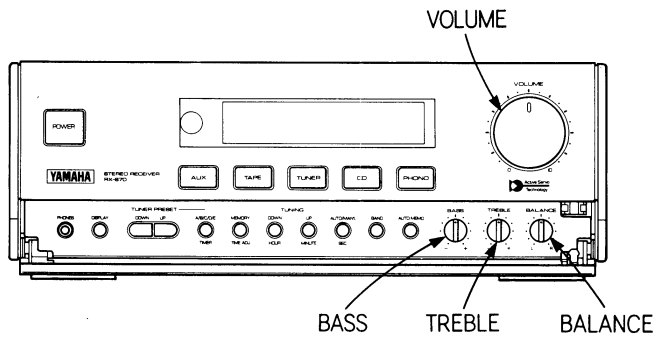
オート マニュアル オートチューニング  
AUTO/MAN'Lボタンを押し、AUTO TUNINGを点灯させます。



FMステレオ放送を受信すると点灯します。  
(電波が弱いと点灯しないことがあります。)



# お好みの音量や音質で聞くには

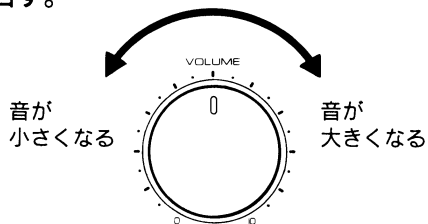


## 音量を変えるには

- デジタル録音されているCDは、音の強さの変化範囲が広がっています。小さい音から大きい音に急激に変化する音楽などを大きな音量（最大付近）で長時間聞くと、スピーカーを破損する恐れがありますので、音量設定に注意してご使用ください。

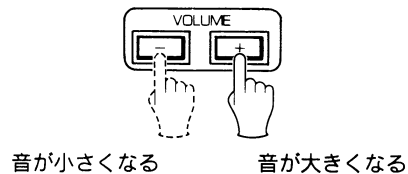
### 本体

ボリューム  
VOLUMEつまみを回す。



### リモコン

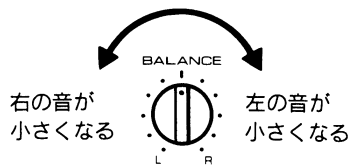
ボリューム  
VOLUMEボタンの“+”または“-”を押す。



お好みの音量や音質で聞くには

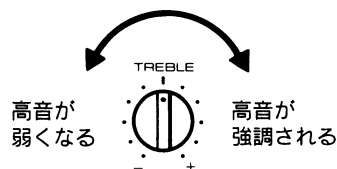
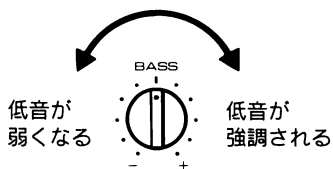
## 左右の音量を変えるには

バランス  
BALANCEつまみを回す。



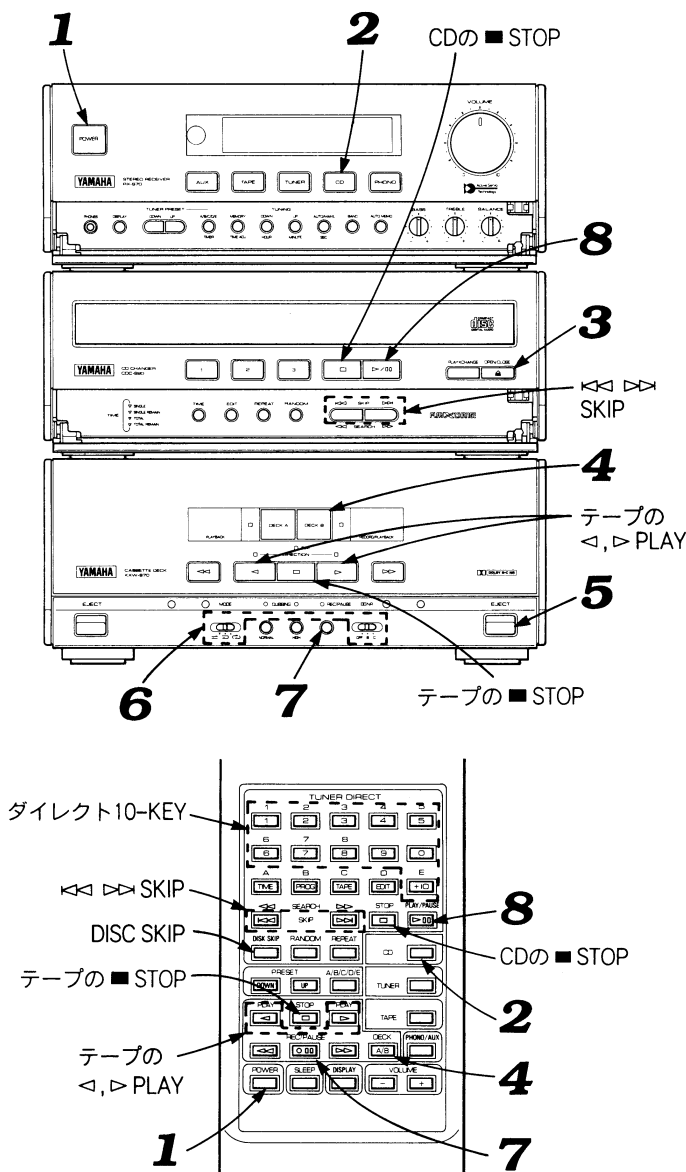
## 音質を調整するには

- BASS** (低音)つまみ、**TREBLE** (高音)つまみで音質を調整します。
- 録音中に音量や音質を変えても、録音には影響ありません。



# CDから録音するには

## ふつうに録音するには



### お知らせ

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(51ページ参照)
- 大切な録音をされる前に、あらかじめ試し録音で間違いなく録音されることを確かめましょう。
- 録音レベル(音量)は、自動録音レベル(ALC)回路によって、自動的に調整されます。
- 万一、本機およびカセットテープなどの不具合により、正常に録音されなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

**1** 電源を入れる ● POWER ボタンを押す

**2** ファンクションをCDにする ● CD ボタンを押す

**3** 録音したいCDを入れ、ディスク  
● ディスクトレイの開閉は OPEN/CLOSE ボタンを押す

**4** デッキ DECK Bを選ぶ ● DECK B ボタンを押す

**5** デッキ DECK Bに録音用テープを入れる ● DECK B側の EJECT ボタンを押す

- テープを入れる前に、走行方向を選んでください  
A面(手前の面)の場合は ▶ ボタンを押す  
B面(反対の面)の場合は ◀ ボタンを押す

**6** ドルビーノイズリダクションモード NR と MODE を選ぶ

OFF	ドルビーNR録音しないとき
B	ドルビーB NR録音するとき
C	ドルビーC NR録音するとき

**7** 録音待機状態にする ● テープの REC/PAUSE ボタンを押す

**8** 録音をスタートさせる ● CDの ▶/⏸ PLAY/PAUSE ボタンを押す

# CDから録音するには

テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。



## 録音を一時的に止めるには

○ REC/PAUSE

レック ボース  
REC/PAUSEボタンを押す  
(テープが止まり録音の待機状態になります。)



- 再び録音を始めたいときは、テープの または PLAYボタンを押します。

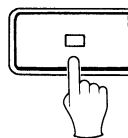
## CDを変更して録音するには

1. 録音中にCDの STOPボタンを押す。
  - 約4秒後にテープも止まり、録音の待機状態になります。
2. CDを変更して、つぎに録音したい曲を選ぶ。  
CDの変更 ディスクスキップ DISC SKIPボタンを押し、希望のディスクにします。  
選曲 ..... CDのダイレクト10-KEYボタンを使い選曲します。
  - ふたたび録音が始まります。
  - 選曲はSKIPボタンでもできますが、選曲後、CDの PLAY/PAUSEボタンを押してください。

CDをプログラム演奏やランダム演奏の状態にしても、録音することができます。このとき、次の曲の頭出しに4秒以上の時間がかかるときは、テープが自動的に一時停止します。曲の頭を見つけると再び録音が始まります。

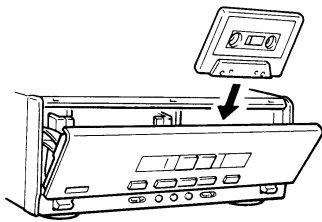
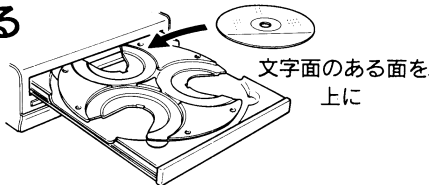
## 録音を止めるには

テープの STOPボタンを押す



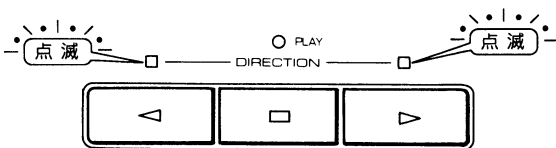
- CDの演奏を止めるには、CDの STOPボタンを押す。

## トレイを閉める



テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープ、メタルテープを自動的に判別するようになっています。

MODE		片面だけを録音するとき
		両面に録音するとき



- CDの演奏が始まる少し前に、録音が始まります。

# CDから録音するには CDとデッキの連動した自動編集録音(CDエディット)

本機は、CDからテープのA面・B面へ自動的に編集録音(CDエディット)することができます。しかも、CDエディットには、次の5種類あります。目的に合わせて使い分けてください。

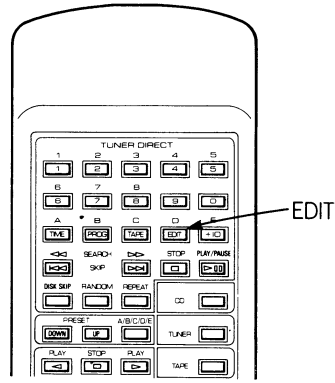
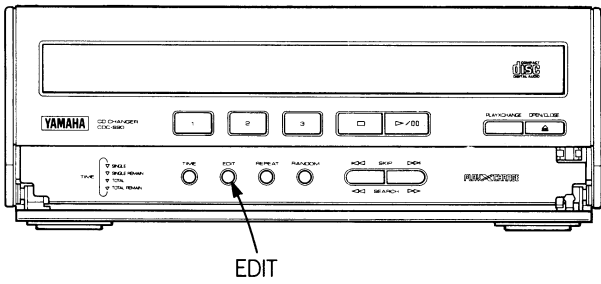
- 自動編集録音(CDエディット)をスタートさせると、自動的にA面側のテープ先頭まで巻き戻して、必ず▷方向から録音を始めます。また、曲が変わるところでは4秒間のスペース(無録音部分)を作って録音します。

注) CDエディットでの繰り返し(リピート)録音はできません。

テープの終端付近をフェードアウト録音したい。 (フェードアウト：徐々に音が小さくなる)		テープ長に合わせて曲切れしないように録音したい。	
エディット (35ページ)	<p>曲順通りに録音します。</p>	テープエディット (36ページ)	<p>曲順通りに録音します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●テープの最後で入りきらぬ曲があると自動的に余白となります。</li> <li>●曲数が多い場合、B面の最終曲も曲切れしないように余白を作ります。</li> <li>●全曲録音した場合、残ったテープは余白となります。</li> </ul>
プログラムエディット (35ページ)	<p>プログラム選曲すれば、お好みの曲順で録音できます。</p>	マニュアルテープエディット (37ページ)	<p>テープ時間に入りきらぬまで、曲を自分で選ぶことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お好みの曲をどんどん選んでも、本機が残りの時間内に入る曲を教えてくださいますのでテープの終わりで曲が途切れる心配がありません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●A面をテープ終端まで一度録音した後、テープを巻き戻してA面の最後の曲を再び録音し直し、テープ終端付近を自動的にフェードアウト録音します。</li> <li>●A面でフェードアウトした曲は、B面の頭から再び録音します。</li> <li>●曲数が多い場合、B面の終端付近もフェードアウト録音します。</li> <li>●全曲録音した場合は、自動的にストップします。</li> </ul>		オートテープエディット (37ページ)	<p>テープの余白を少なくなるように自動的にプログラムします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●A面の余白が、少なくなるように自動的に曲の組み合わせをします。曲数が多い場合、B面も同様に残った曲で余白が少なくなるように組み合わせをします。</li> <li>●全曲録音した場合、残ったテープは余白となります。</li> </ul>

CDから録音するには

- フェードアウト録音はしません。
- CDのピークレベルを検出してCDの出力を自動設定します。



## エディット録音

## プログラムエディット録音

**1** CDと録音テープを入れて録音の準備をする

- 32～33ページの①～⑥の操作をする。
- MODEスイッチは“ ”の位置にしてください。

**1** CDと録音テープを入れて録音の準備をする

- 32～33ページの①～⑥の操作をする。
- MODEスイッチは“ ”の位置にしてください。

**2** 自動編集録音をスタートさせる



エディット  
● EDITボタンを押す

**2** プログラム選曲する

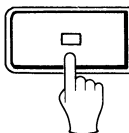
- 21ページの①～④の操作をする。

**3** 自動編集録音をスタートさせる



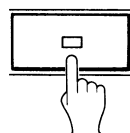
エディット  
● EDITボタンを押す

## 自動編集(エディット)機能を取り消すには



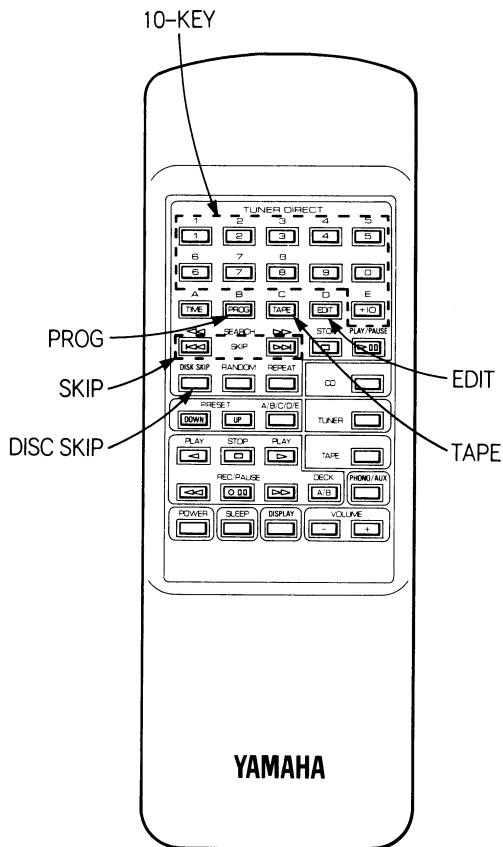
- CDの <sup>ストップ</sup>STOPボタンを押す
- ※ 録音が始まっている場合には、テープに4秒間の無録音部分を作って終了します。

または



- テープの <sup>ストップ</sup>STOPボタンを押す
- ※ CDも自動的に止まります。

テープエディット録音



- テープエディット／オートテープエディット／マニュアルテープエディット録音は、EDITボタンを押してから録音が始まるまで、テープの頭出しとディスクのレベル検出のために、少し時間がかかります。
- CDのピークレベルを検出して、録音レベルを自動的に設定します。“LEVEL”表示はピークレベルを検出していることを表わしています。
- テープの録音時間は、ケースやカセット面に表示されている時間よりも多少長めに作られています。そのため、テープの長さを指定しても、テープが余るときがあります。
- “ERR”（エラー）と表示される場合は、テープの残り時間内に入り切れない曲をプログラム選曲したことを表わしています。

1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

- 32～33ページの①～⑥の操作をする。
- MODEスイッチは“ ”の位置にしてください。

2 テープの長さを選ぶ

リモコンのみ操作できます

- TAPESボタンを押してテープの長さに合わせる

C46 → C54 → C60 → C90 → 解除

- C46、C54、C60、C90以外のテープを使うときは、リモコンの10-KEYを操作して時間を合わせます。

(例)C30のテープを使うとき

C-46、C-54、C-60、C-90のいずれかのポジションで (+10) → (+10) → (+10) → (0) と押します。

- すでにプログラム選曲されている場合、テープの長さを設定できません。そのときは一度CDのSTOPボタンを押してプログラム選曲を解除してください。

3 自動編集録音をスタートさせる



- EDITボタンを押す

## マニュアルテープエディット録音

### 1 前ページの①～②を行なう

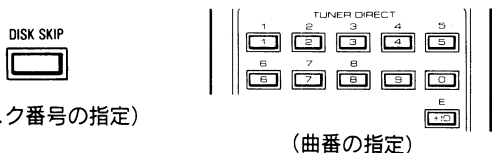
- CDと録音テープを入れて録音の準備をします。
- テープの長さを指定します。

### 2 A面の録音曲を選ぶ



- プログラム  
●PROGボタンを押す

- 次にA面へ録音したい曲を選ぶ  
(21曲以上入ったCDでは、19曲目までプログラムできます)



プログラムした曲番が点灯して、テープの残り時間に入る曲番が点滅します。

A面のテープ時間内に入るプログラム選曲が終了したならば、次の③の操作を行なってください。

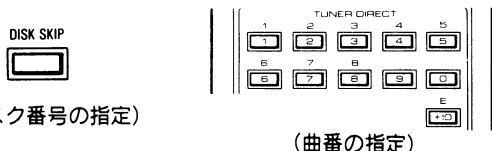
### 3 B面の録音曲を選ぶ



- テープ  
●TAPEボタンを押す

(一旦 "Pu" 表示します。  
O.O Bに変わります。)

- 次にB面へ録音したい曲を選ぶ



B面のテープ時間内に入るプログラム選曲が終了したならば、次の④の操作を行なってください。

### 4 自動編集録音をスタートさせる



- エディット  
●EDITボタンを押す

## オートテープエディット録音

### 1 前ページの①～②を行なう

- CDと録音テープを入れて録音の準備をします。
- テープの長さを指定します。

### 2 自動選曲をスタートさせる



- プログラム  
●PROGボタンを押す



- テープ  
●次にTAPEボタンを押す

- 1枚のCD内の曲を設定したテープ長に合わせてA面・B面に自動選曲を行います。
- A面の自動選曲中は、“AP A>”表示、B面の自動選曲中は、“AP B>”表示します。

### 3 自動編集録音をスタートさせる



- エディット  
●EDITボタンを押す

## プログラムの確認／訂正

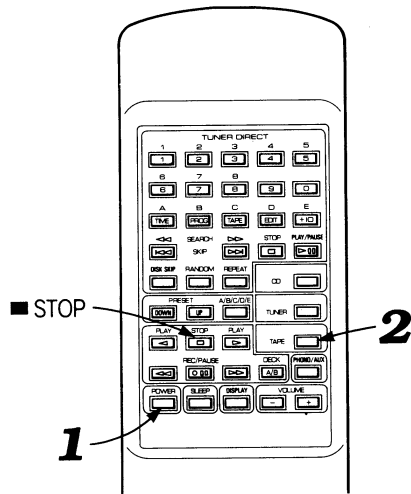
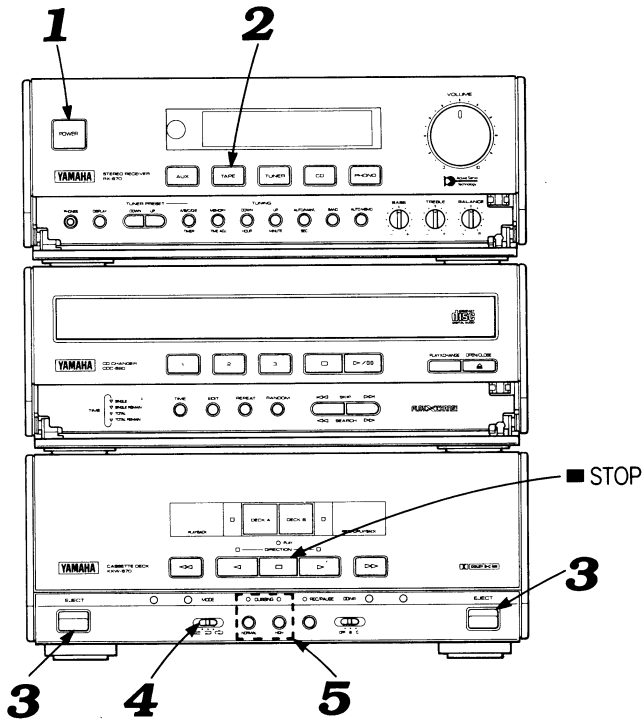
プログラムエディット／マニュアルテープエディット／オートテープエディット録音は、プログラムの確認および訂正ができます。

1. EDITボタンを押す前に行います。
2. SKIPボタン(◀◀または▶▶)を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
3. プログラムを訂正するときは、訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと10-KEYボタンで選びます。

# テープダビングするには

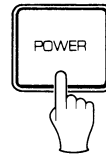
テープダビング時には、音量やトーンコントロールを調整したり、NRスイッチを切り換えても録音には影響しません。

テープAに録音されている音そのまま同じレベルでテープBに録音されます。



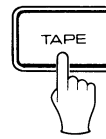
テープダビング専用リモコン

## 1 電源を入れる



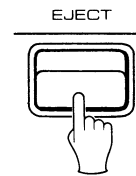
● POWER ボタンを押す

## 2 テープ ファンクションをTAPEにする



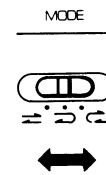
● TAPE ボタンを押す

## 3 再生用と録音用のテープを入れ



● DECK A側とDECK B側の EJECT ボタンを押す

## 4 モード MODEを選ぶ



## 5 テープダビングをスタートさせる

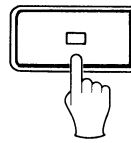
デッキ本体のみ  
操作できます

○ DUBBING ○





## テープダビングを止めるには

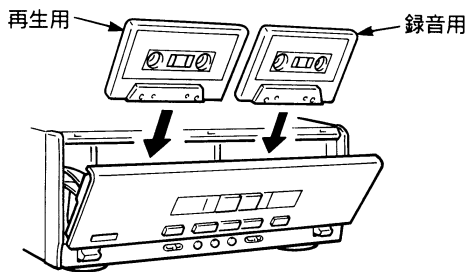


-  ストップ STOP ボタンを押す



テープAとテープBが同時に止まります。

TAPE

る



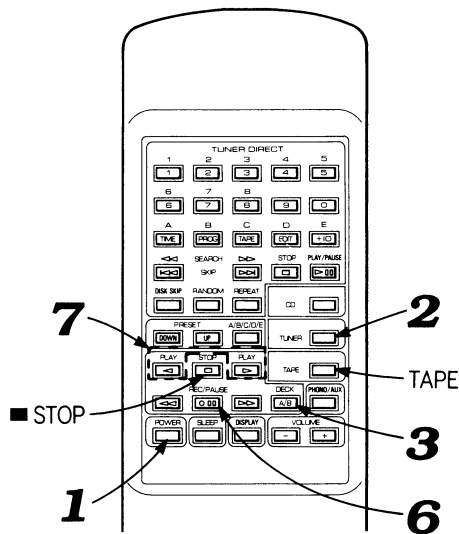
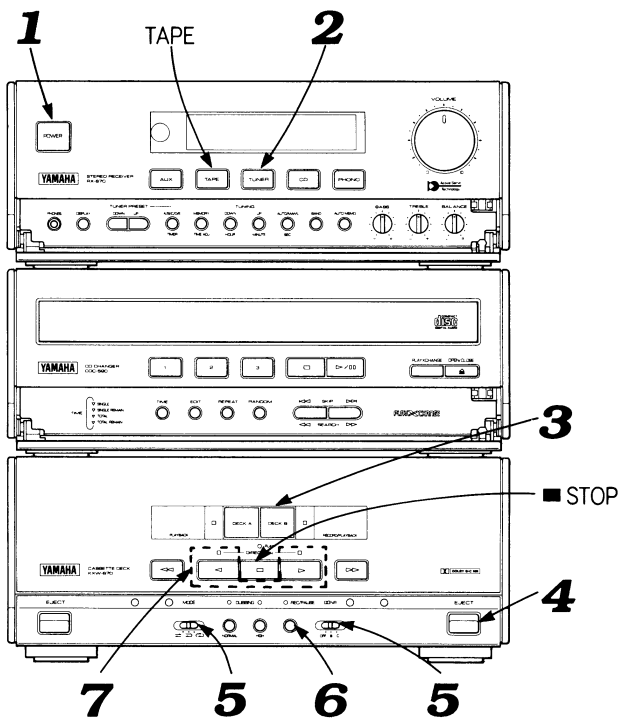
- 両面に続けてダビングするときは、同じ長さのテープを使うことをおすすめします。
- どちらか一方のテープが先に終わると、自動的にテープダビングは終了します。

	A面(手前の面)だけをダビングするとき
	A面(手前の面)B面(反対の面)をダビングするとき

NORMAL	通常の早さでダビング
HIGH	約2倍の早さでダビング

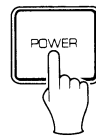
- テープのA面(手前の面)からダビングが始まります。

# ラジオ放送を録音するには



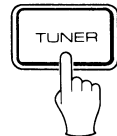
ラジオ放送を録音するには

## 1 電源を入れる



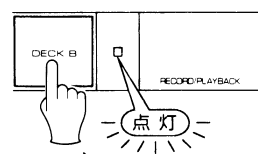
● POWER ボタンを押す

## 2 チューナー ファンクションをTUNERにする



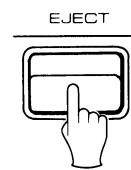
● TUNER ボタンを押す

## 3 デッキ DECK Bを選ぶ



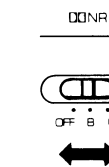
● デッキ DECK Bボタンを押す

## 4 デッキ DECK Bに録音用テープを入れる



● デッキB側のEJECTボタンを押す

## 5 ドルビーノイズリダクションモード NR と MODE を選ぶ



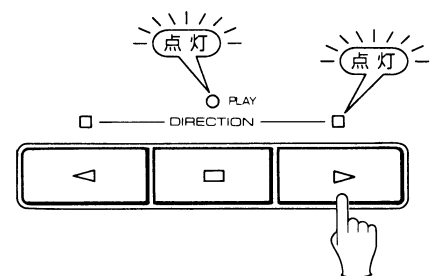
OFF	ドルビーNR録音しないとき
B	ドルビーB NR録音するとき
C	ドルビーC NR録音するとき

## 6 録音待機状態にする



● レックポーズ REC/PAUSEボタンを押す

## 7 録音したい面をスタートさせる

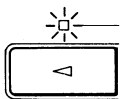
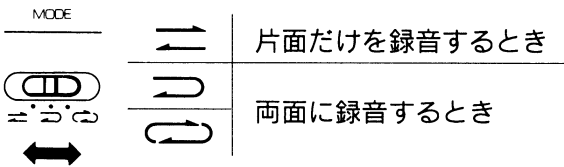
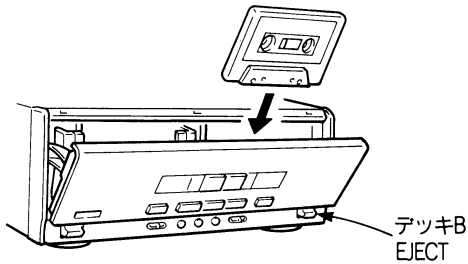


# ラジオ放送を録音するには

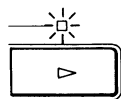
## ●お望みのラジオ放送局を受信する



詳しくは、30ページをご覧ください。



B面(反対の面)に録音するとき



A面(手前の面)に録音するとき

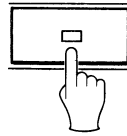
- 両面に続けて録音するときは、A面から始めます。(B面から始めてもA面には切り換わりません。)

テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。



録音できない部分

## 録音を止めるには



- <sup>ストップ</sup> STOPボタンを押す

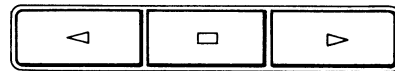
## 録音を一時的に止めるには

○ REC/PAUSE

- <sup>レック ポーズ</sup> REC/PAUSEボタンを押す



○ <sup>PLAY</sup> DIRECTION



- 再び録音を始めるときは、表示ランプの点滅している <sup>ストップ</sup> PLAYボタンを押します。

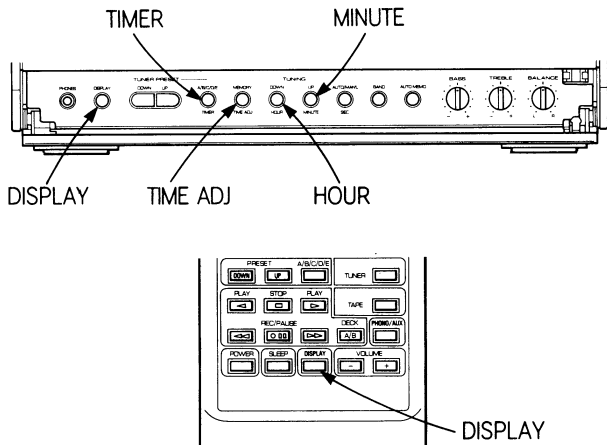
## 録音されたテープの音を消すには

1. 消したいテープを <sup>デッキ</sup> DECK Bに入れる。
2. ファンクションを <sup>テープ</sup> TAPEにする。
3. <sup>デッキ</sup> DECK Bボタンを押す。
4. <sup>モード</sup> MODEスイッチをお好みに切り換える。
5. <sup>レック ポーズ</sup> REC/PAUSEボタンを押す。
6. 消したい面の <sup>プレイ</sup> PLAYボタンを押す。

ラジオ放送を録音するには

# タイマーを使うには

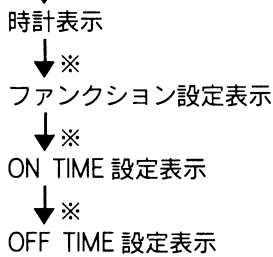
- タイマー時刻を設定する前に、現在の時刻が合っているか、確かめてください。



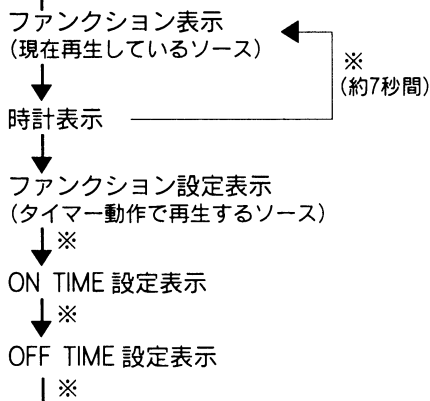
## ディスプレイ DISPLAYボタンについて

- DISPLAYボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

### 電源が切れているとき



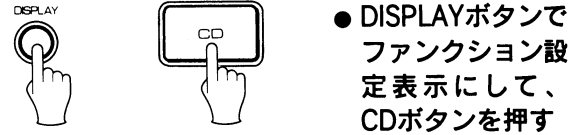
### 電源が入っているとき



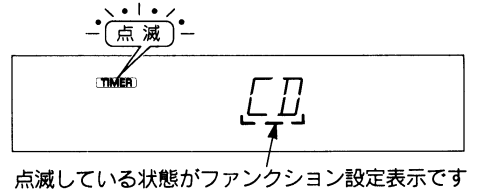
※ … 各設定表示は、約8秒間何も設定しないと自動的に次の表示に移ります。

## タイマー再生をするには (例えば、

### 1 ファンクション設定表示にして

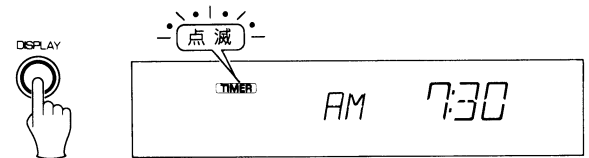


- DISPLAYボタンでファンクション設定表示にして、CDボタンを押す



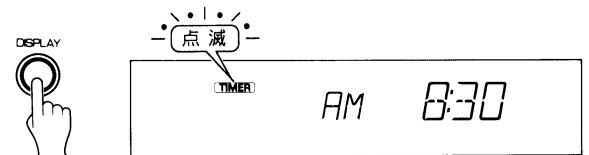
点滅している状態がファンクション設定表示です

### 2 オン タイム ON TIME設定表示にして開始時刻を設定する



- 約1秒間 "ON TIME" 表示して、開始時刻を表示します。

### 3 必要に応じて終了時刻を設定する



- 約1秒間 "OFF TIME" 表示して、終了時刻を表示します。  
開始時刻を設定すると終了時刻は1時間後にセットされます。  
必要に応じて設定してください。

### 4 タイマー再生をスタートさせる



- タイマー  
TIMERボタンを押す

- 現在時刻を表示する
- 設定した時刻がくるとタイマー再生が動作します。

## 朝CDを聞いて起きたい場合)

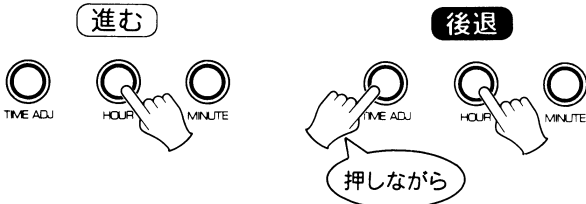
### ファンクションを決める

- あらかじめCDをディスクトレイに入れる (16ページ)  
TAPEの場合はテープをデッキに入れる (24ページ)  
TUNERの場合は、ラジオ放送局を決める (30ページ)
- 音量を調整しておきます。
- TUNERを設定した場合、本体のBAND・A/B/C/D/Eと  
PRESETボタンで選局することもできます。

### 開始時刻または終了時刻の 設定のしかた(レシーバー部のみ)

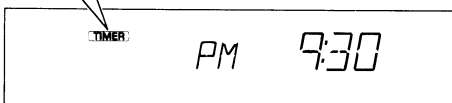
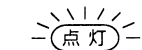
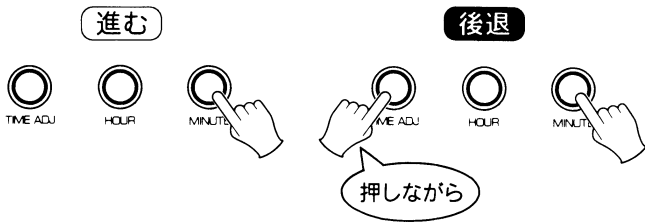
**時の設定**： HOURボタンを押すと“時”が進む。  
TIME ADJボタンとHOURボタンを同時押しすると“時”が後退する。

“時”



**分の設定**： MINUTEボタンを押すと“分”が進む。  
TIME ADJボタンとMINUTEボタンを同時に押しすると“分”が後退する。

“分”



- タイマーのON/OFFは、ON/OFF TIME 設定表示  
または時計表示のときのみできます。

### タイマー時刻を確かめるには

ディスプレイ  
DISPLAYボタンを押して、各設定表示を確認してください。

### タイマー動作を中止するには

タイマー  
時計表示のときTIMERボタンを押す。  
(TIMER表示は消えます。)

### POWER ON中に、タイマーONになった場合

タイマー設定内容に従い、タイマー再生またはタイマー録音を始めます。

**使用例** ... CDを聞いているが、午後3時からFMの番組を聞きたい場合など

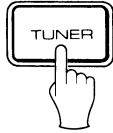
### タイマーの記憶について

タイマー設定した内容は、電源コードを抜いたり停電しても、約30分までは設定した内容を記憶しています。

# タイマーを使うには

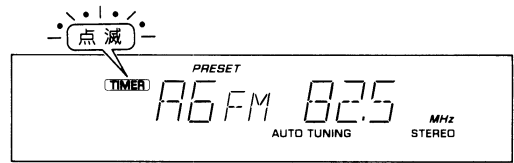
## タイマー録音をするには (ラジオ放送を留守録音したい場合)

- 1** あらかじめ、聞きたい放送局を選び、  
デッキBに録音用テープを入れる



●40ページの①～⑤番の操作する

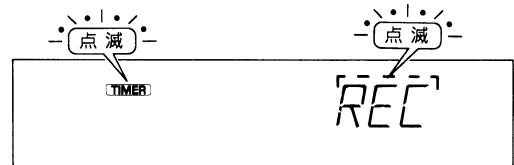
- 2** ファンクション設定表示にする



- 3** タイマー レック  
TIMER REC状態にする

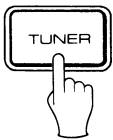


●2回押す



●TIMER REC状態(モード)を解除する場合は、TAPEボタンを押す。

- 4** チューナー  
TUNER を設定する

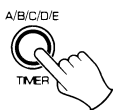


●約1秒間“TUNER”と“REC”が点滅表示した後、  
受信周波数と“REC”が点滅します。(約8秒間)  
このとき本体のBAND・A/B/C/D/EとPRESET  
ボタンで選局することもできます。  
(30ページの③～④の操作)

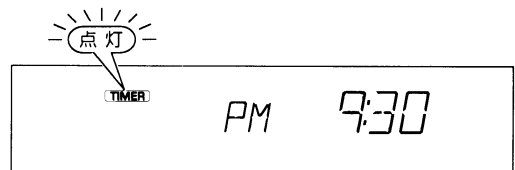
- 5** 開始時刻と終了時刻を設定する

●42～43ページの②～③番を操作する

- 6** タイマー録音をスタートさせる



●タイマー  
●TIMERボタンを押す  
●設定した時刻がくると  
タイマー録音が動作します



●タイマーのON/OFFは、各設定表示または時計表示のときのみできます。

聞きながらおやすみになるには

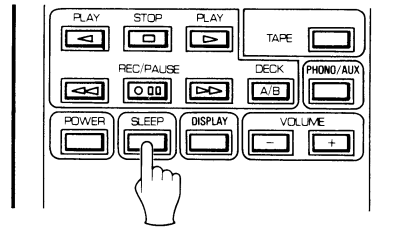
1 聞きながらおやすみになりたいものを操作する



- テープを聞きながらおやすみ
- ラジオ放送を聞きながらおやすみ
- CDを聞きながらおやすみ

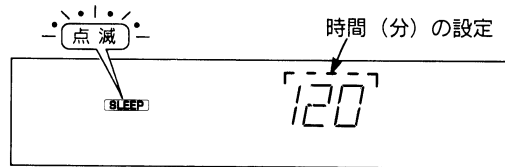
2 スリープ SLEEPボタンを押す  
(リモコンのみ)

- スリープ時間は自動的に120分に設定されます。  
(約4秒たつとSLEEPボタンを押す前の表示に戻ります。)



3 スリープ スリープ時間を変えるには

- スリープ SLEEP表示が点滅している間に、  
SLEEPボタンを押す



押すたびに、120 → 90 → 60 → 30 → OFF SLEEP と変わります。

本体でスリープを設定するには

1. DISPLAYボタンを押して、時計表示にする。
2. AUTO MEMOボタンを押すと、スリープ設定ができます。



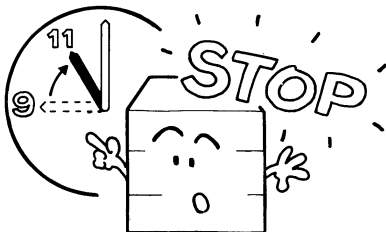
時間がくると電源が切れます。

スリープ動作中に  
残りの時間を確かめるには

- スリープ SLEEPボタンを押す

スリープ動作を途中でやめるには

- スリープ SLEEPボタンを押してOFF SLEEP表示にする  
(またはパワー POWERボタンを押す  
電源が切れます)



参考

スリープ時間をセットしたあとでも、タイマー再生/録音することができます。(42~44ページ)

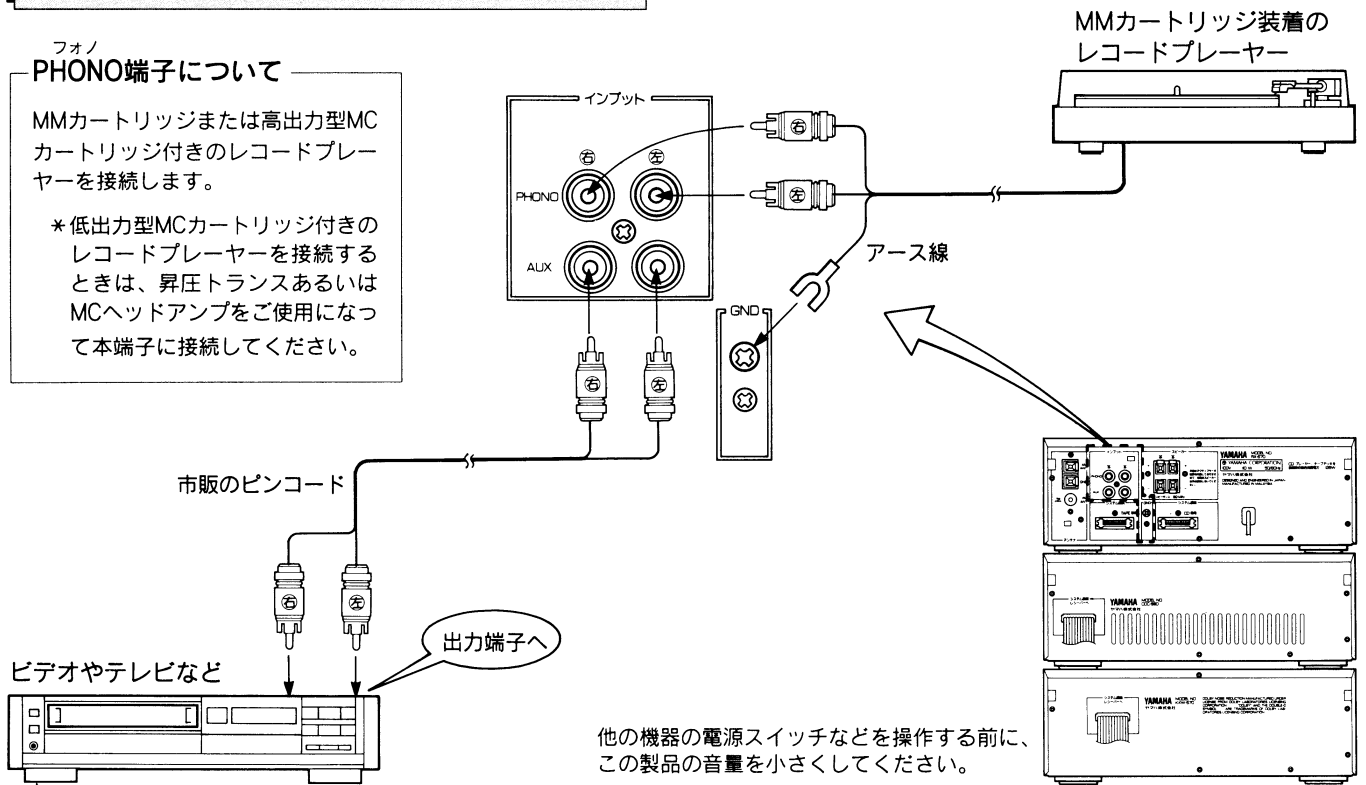
# 外部機器を楽しむには

## 他の機器の演奏音をこの製品で聞いたり、録音したりするには

### フォノ PHONO端子について

MMカートリッジまたは高出力型MCカートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続します。

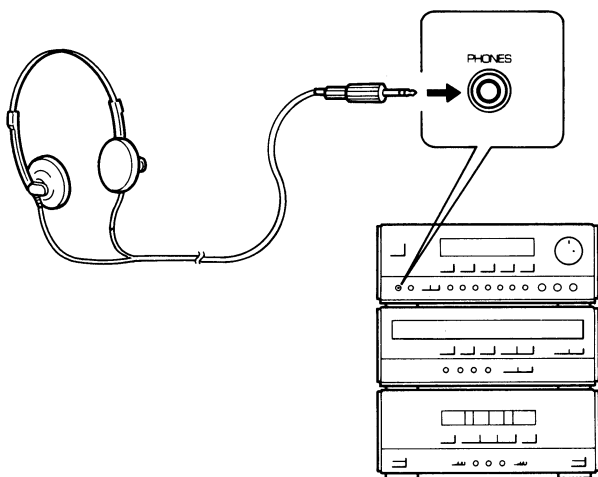
\* 低出力型MCカートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続するときは、昇圧トランスあるいはMCヘッドアンプをご使用になって本端子に接続してください。



### 接続上のご注意

- コードを接続する前に電源コードをコンセントに差し込まないでください。
- コードは決められたとおりに接続してください。
- ピンコードは付属していませんので、お買いあげの販売店でお願いします。
- 各接続コードは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音が出る原因になります。

## ヘッドホンで聞くには



※ヘッドホンは付属していませんので、お買いあげの販売店でお願いします。

- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音は聞こえなくなります。
- インピーダンス16Ω~50Ω(推奨32Ω)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。

### 音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。



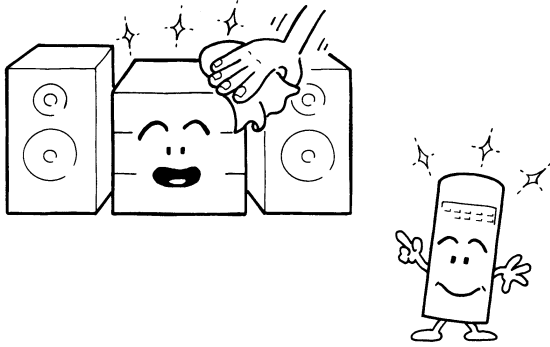


# お手入れするには

● お手入れする前に、電源コードをコンセントからはずしてください。

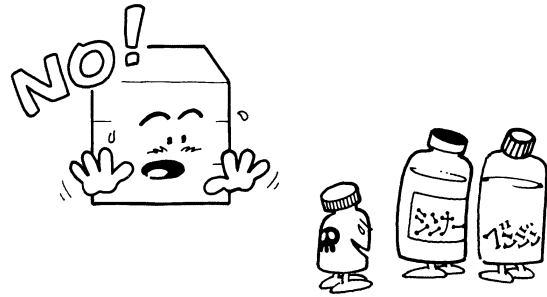
## 本体／リモコン

ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



## ご注意

ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので使わないでください。



## ヘッド

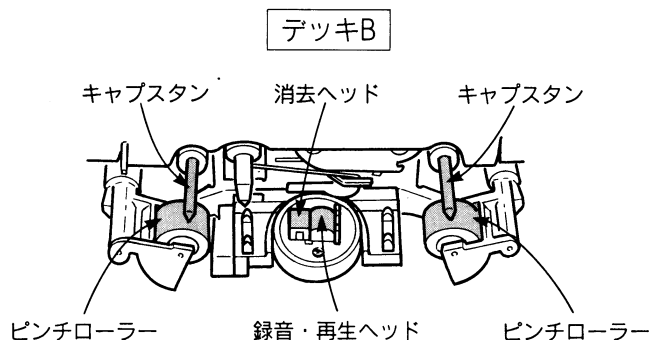
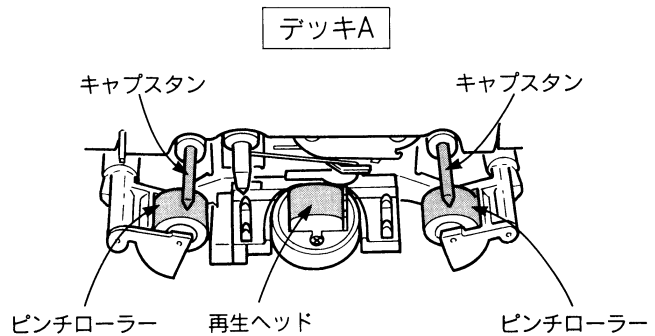
### <ヘッド部の清掃>

良い音で録音や再生を楽しむために、およそ15時間使用することに清掃してください。市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒でテープの触れる面を軽くふきます。

### <ヘッド部の消磁>

長い間使っていたり、ヘッド部に磁気を帯びたものが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をすると、雑音が入ります。このようなときは、市販の消磁器を使って消磁してください。

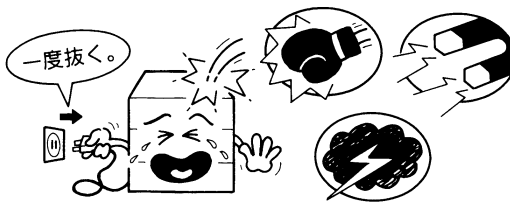
● 油をささないでください。故障の原因になります。



お手入れするには

# 故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。



- この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
- このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

## こんなとき

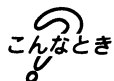
## ここをおたしかめください

## 参照ページ

スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドホンが差し込まれていませんか？</li> <li>●ファンクションが正しく合っていますか？</li> <li>●スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか？</li> </ul>	46 — 11
低音が出ない。 音源の位置が不明りょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーの左右どちらかの極性、(+,-)が反対になっていませんか？</li> </ul>	11
"ブーン" という雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうけることがあります。 電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。</li> </ul>	—
時計の表示が点滅して動作をしていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停電がありませんでしたか？ 時刻を設定し直してください。</li> </ul>	15
電源を切っているのに、わけのわからない表示をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時刻合わせをしましたか？</li> <li>●停電がありませんでしたか？</li> </ul>	3

## ●CDを聞くとき

<ul style="list-style-type: none"> <li>●CDを入れても総曲数の表示がつかない。</li> <li>●操作ボタンを押しても動作をしない。 また、曲の途中で止まってしまい正しい演奏をしなくなる。</li> <li>●演奏音がとぎれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CDの裏表をまちがえていませんか？</li> <li>●ディスクトレイの中に異物が入っていませんか？</li> <li>●CDに汚れやキズがありませんか？</li> <li>●規格外のCDを使用していませんか？</li> <li>●振動の多い不安定な場所においていませんか？</li> <li>●つゆがついていませんか？</li> </ul>	16 — 14 — — 3
<ul style="list-style-type: none"> <li>●"no disc"が表示される。</li> <li>●ディスクトレイが出てきてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CDにゴミやキズがついていたり、裏表を逆に入れていませんか？</li> </ul>	16
ボタンを押しているうちに、正常な動作をしなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●演奏位置をさがす動作がボタン操作と対応しなくなることがあります。 一度、電源を切り、再び操作をやり直してください。</li> </ul>	—



ここをおたしかめください



## ●テープを聞くとときまた録音するとき

REC/PAUSEボタンを押しても表示ランプがつかない。	●カセットテープの消去防止用のツメが取り除かれていませんか？	14
録音および再生のとき音がとぎれる。または高音が出ない。	●テープにシワがあつたり、伸びたりしていませんか？ ●ヘッド部が汚れていませんか？	— 47
録音および再生のとき音のふるえが多い。	●テープが伸びていませんか？ ●キャプスタンやピンチローラーが汚れていませんか？	— 47

## ●ラジオ放送を聞くととき

FM放送に“ザー”という連続音が入る。	●アンテナの位置が悪くありませんか？	12
AM放送を聞いているときに、“シー” “ザー” という連続音が入る。	●テレビなどからの雑音が入る、または、放送局間の干渉音が聞こえることがあります。テレビを消すか、テレビから離してください。	—

## ●リモコンを使うとき

正しい動作をしない。	●乾電池が消耗していませんか？ ●受信部に正しく向けていますか？ ●受信部との距離が遠すぎませんか？ または近すぎませんか？ ●受信部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)があたっていませんか？ ●他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？ ●乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか？	9
------------	---	---

## ●タイマーを使うとき

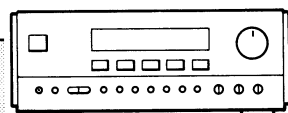
タイマーがスタートしない。	●時刻合わせをしましたか？	15
	●(TIMER)が表示されていますか？	42

## ●本機をテレビの近くに置いているとき

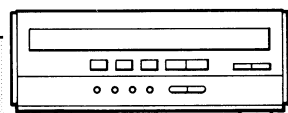
“キーン” や “ブーン” という雑音が入る。または、雑音が入る。または、雑音が入る。	●使用するテレビによっては、テレビから雑音が入ることがあります。テレビとこの製品の位置を左右入れかえるか、雑音がなくなるまで離してください。または、テレビを消してください。	—
他のチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じる。	●室内アンテナを使用しているチューナーやテレビを近くに置いていませんか。特に、室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。	—

# 仕様について

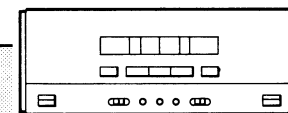
仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。



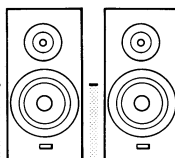
レシーバー部 (RX-S70)						
アンプ部	定格出力	50W+50W (20Hz~20kHz, 0.04% THD, 6Ω) 75W+75W(1kHz, 10% THD, 6Ω)	チューナー部	FM受信周波数範囲	76.0MHz~90.0MHz	
	入力感度/インピーダンス	2.5mV/47kΩ (PHONO)		FM実用感度 (MONO)	1.2μV(75Ω)	
		150mV/25kΩ (AUX)		AM受信周波数範囲	531kHz~1611kHz	
	全高調波歪率	0.04% (AUX, 20Hz~20kHz, 25W/6Ω出力時)		総合	AM実用感度	280μV/m
	SN比	102dB (AUX)			電源電圧	AC100V 50/60Hz
	トーンコントロール	BASS 0±10dB(50Hz)			消費電力	110W(レシーバー単品) 126W(システム接続時)
		TREBLE 0±10dB(20kHz)			寸法(幅)×(高さ)×(奥行)	280×107.5×339.5mm
ヘッドホン出力インピーダンス	68Ω	重量	6.0kg			



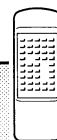
CDプレーヤー部 (CDC-S90)					
方式	型式	3CDオートチェンジャー	ワウ・フラッター	測定限界値以下	
	読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 (3ビーム半導体レーザー使用)	総合	電源	レシーバー部より供給
	D/Aコンバーター	1bit DAC		寸法(幅)×(高さ)×(奥行)	280×107.5×323mm
	フィルター	8倍オーバーサンプリング 18bitデジタルフィルター		重量	3.8kg



カセットデッキ部 (KXW-S70)						
メカ部	型式	オートリバース	オーディオ部	周波数特性 (-20dB)	ノーマル 30Hz~15,000Hz ±3dB	
		4トラック2チャンネル			クローム 30Hz~16,000Hz ±3dB	
	再生/録再ステレオダブル カセットデッキ	メタル 30Hz~18,000Hz ±3dB				
	ヘッド	再生 ハードパーマロイ×1		SN比 (IHF-A)	NR OFF	58dB
		録再 ハードパーマロイ×1			DOLBY B NR ON	66dB
	消去 ダブルギャップフェライト×1	DOLBY C NR ON			74dB	
	モーター	DCサーボモーター×2		高調波歪率	1.2%以下 (315Hz)	
ワウ・フラッター	±0.19%(W.PEAK)	チャンネルセパレーション	40dB以上 (1kHz)			
	0.09%(W.RMS)	クロストーク	55dB以上 (125Hz)			
早巻き時間	約120秒 (C-60テープ)	総合	電源	レシーバー部より供給		
			寸法(幅)×(高さ)×(奥行)	280×117.5×326mm		
			重量	4.2kg		



スピーカー部 (NX-S70)	
型式	アクティブサーボプロセス方式
スピーカー	13cmウーハー
	5cmツイーター
最大許容入力	75W
インピーダンス	6Ω
再生周波数帯域	40Hz~20,000Hz
音圧レベル	89dB(1m・1W)
寸法(幅)×(高さ)×(奥行)	180×360×239mm
重量	4.5kg×2



付属品	
リモコン送信機×1	スピーカーコード×2
AM用ループアンテナ×1	単3乾電池×2
FM用アンテナ×1	

仕様について

## ||||||| ドルビーNRについて |||

カセットテープの場合、聴感上、高域でのテープのヒスノイズが主な雑音源になります。このヒスノイズを減らすため、ドルビーB NRとドルビーC NRを切り換えて使用することができます。

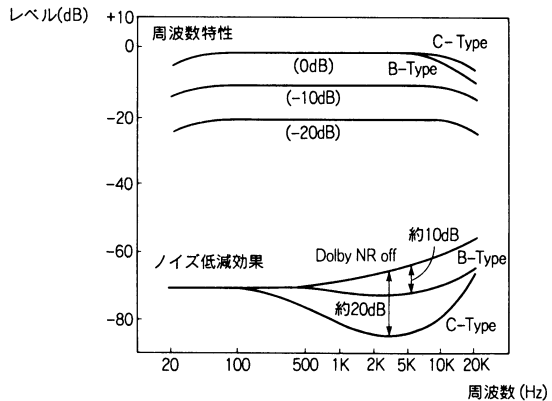
ドルビーB NRでは、高域周波数において約10dBの改善効果があります。ドルビーC NRでは、人間の耳が最も敏感な帯域(2K Hz~8KHz) で約20dBの改善効果が得られます。

右図は、ドルビーB NRとドルビーC NRで録音・再生したときの周波数特性とノズル低減効果を表わしたものです。ドルビーC NRの場合、ドルビーB NRに比べノイズはさらに低減され、約20dBの改善効果があることがわかります。なお、ドルビーNRシステムは、録音・再生両過程を通じてノイズを低減しますので、再生時にはDOLBY NRスイッチは必ず録音時と同じ状態にしてください。

### DOLBY B・C NR

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの登録商標です。



## ||||||| 音楽著作権について |||

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

1. 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。
2. 営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

### 日本著作権協会

本部	(03)	3502-6551	北陸支部	(0762)	21-3602
北海道支部	(011)	221-5088	京都支部	(075)	251-0134
盛岡支部	(0196)	52-3201	大阪支部	(06)	244-0351
仙台支部	(022)	264-2266	神戸支部	(078)	322-0561
大宮支部	(048)	643-5461	中国支部	(082)	249-6362
東京支部	(03)	3562-4455	四国支部	(0878)	21-9191
西東京支部	(03)	3232-8301	九州支部	(092)	441-2285
横浜支部	(045)	662-6551	鹿児島支部	(0992)	24-6211
静岡支部	(054)	254-2621	那覇出張所	(098)	863-1228
中部支部	(052)	586-1155			

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部または最寄りの支部へお問い合わせください。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

本システムは、レシーバー部、デッキ部、CD部の単体では動作しませんので、レシーバー部+デッキ部+CD部の組み合わせて修理をご依頼ください。

- 保証の期間は  
お買上げ日より1年間です。
- 保証期間中の修理は  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは  
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- 修理料金の仕組み
  - ◆技術料  
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
  - ◆部品代  
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
  - ◆出張料  
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 補修用性能部品の最低保有期間は  
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 持ち込み修理のお願い  
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- 製品の状態は詳しく  
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。  
※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## ■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口)

北海道 〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 513 - 5036
仙台 〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL (022) 236 - 0249
新潟 〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL (025) 243 - 4321
首都圏 〒211	川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434 - 3100
東京 〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL (03) 3255 - 2241
浜松 〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465 - 6711
名古屋 〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652 - 2230
大阪 〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 877 - 5262
広島 〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL (082) 874 - 3787
四国 〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL (0878) 22 - 3045
九州 〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472 - 2134

## ■お客様ご相談窓口

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

東京 〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL (03) 3255 - 5691 TEL (03) 3255 - 6767
名古屋 〒460	名古屋市中区錦一丁目18-28 TEL (052) 232 - 5740
大阪 〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17 なんば辻本ニッセイビル TEL (06) 647 - 6411
本社 〒430	浜松市中沢町10-1 AV機器事業部 お客様ご相談センター TEL (053) 460 - 3409

## ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451  
品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。



**YAMAHA**